

目次

ア	学則変更（収容定員変更）の内容	・・・p. 2
イ	学則変更（収容定員変更）の必要性	・・・p. 2-3
ウ	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	・・・p. 3
	（ア） 教育課程等	・・・p. 3
	（イ） 教育方法及び履修指導方法	・・・p. 4
	（ウ） 教員組織の変更内容	・・・p. 4
	（エ） 教員組織及び施設・設備	・・・p. 4
エ	2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画	・・・p. 4
	その他	・・・p. 5

学則変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

本学医学部医学科の令和6年度入学定員を、現行の入学定員105人から20人増加し、125人に変更する。これにより、収容定員を630人から650人へ変更する。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

医学部は、県内唯一の医師養成機関として、医師不足が深刻な地域や診療科の医療を担うことのできる医師を養成し、県内医療機関との連携により地域医療の安定を担っている。

山梨県は、慢性的な医師不足の状況に対応して医学部学生を確保するため、平成19年度に、将来県内で医師業務に従事する意志を持つ学生を対象とした返還免除要件付きの奨学金として、「山梨県医師修学資金貸与制度」（資料1）を創設した。

本学では、「新医師確保総合対策」に基づく10人の臨時定員増（平成20～29年度）や、「緊急医師確保対策」に基づく5人の臨時定員増（平成21～29年度）、「経済財政改革の基本方針2008」に基づく5人の恒久定員増をそれぞれ実施したほか、「緊急臨時的医師確保（経済財政改革の基本方針2009地域枠）」に基づき5人の臨時定員増（平成22～令和元年度）を実施した。平成29年度までを期限とする15名の臨時定員増については、4回の延長を経て令和5年度までの延長が承認され、これらの対策により、入学定員を100人から125人に増員してきた。

また、これら定員増に伴い、平成20年度から、推薦による地域枠の入学試験を開始した。その後、県外高等学校卒業生も対象とする地域枠Ⅱを一時的に設けたが、現在は県内高等学校出身者のみを対象（入学定員35名）としている。

このような取り組みにより、山梨県における人口10万人当たりの医師総数は、平成20年度の211.8人（全国平均224.5人）（資料2）に対し、令和2年度は259.4人（全国平均269.2人）（資料2）と増加しているものの、全国平均を下回っており、依然医師不足は解消されていない。

山梨県は、県面積の約8割が山間地域という特性があり、地域別の人口10万人当たりの医師総数の内訳は、県都市部の中北地区における322.2人に対し、峡東地区では209.3人、富士・東部地区では168.0人、峡南地区では123.9人と大きな開きがあり、地域差が最大2.6倍と地域偏在が顕著となっている。（資料2）

このような状況から、今後も医師不足と地域偏在の解消に向け、取り組みを推進していく必要がある。

また、地域枠入試導入後の卒業生の県内就職率は、一般入試入学者の24.0%に対し、地域枠卒業生の県内就職率は91.5%と高く、地域枠制度は

本県の医師確保の手段として大きな成果を上げている。(資料3)

以上のことから、令和5年度が期限となっている医学部臨時定員の延長による入学定員20名の増員を、令和6年度まで延長申請するものである。

ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

医学部医学科の教育課程、教育方法等については、入学定員125人に対応した現状の教育内容で引き続き実施していくこととしており、大きな変更は伴わない。

(ア) 教育課程等

平成20年度からの定員増に伴い、地域医療の現状、魅力、意義などを教育するため、新たに地域医療学講座を設置して「地域医療学(必修)」を開講した。また、地域医療に関連する特別講義の開講や、ECE(早期臨床体験実習)等の見直しを行っており、現在は次のとおり対応している。

地域医療の現状と魅力を理解し、地域医療に従事する意識を向上させるため、「地域医療学(必修)」(資料4)を開講するとともに、1年次にECE(早期臨床体験実習)(資料5)、2年次に防災訓練への参加、3年次に救急車同乗実習を必修とし、毎年実習終了後には、履修者全員が報告書を作成することとしている。

これらの実習以外にも、3～4年次を中心に、任意で在宅医療実習、地域病院実習を行っている。(新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2～4年度は中止。)6年次には、社会医学実習(必修)として約3分の1の学生が3日間程度の診療所(開業医)実習を選択している。

これらは、原則として県内の医療機関で実施されているが、講義・講演の講師も、地域中核病院の病院長や開業医、県の医療行政担当者、がん患者等、幅広い分野の方々に依頼しており、地域医療への関心を高める内容としている。さらに、5年次以降は、臨床実習における山梨県立中央病院や地域中核病院での実習を通じ、地域医療をより体験できる機会を設けている。

地域医療学では、地域における医師の偏在が住民生活へ及ぼす影響、医療政策に伴う特定検診・特定保健指導の実施等について、医療経済学的視点から理解できるよう指導しており、今後増加が予想される在宅医療・在宅看護についても、実習や講義を通じて理解を深めさせている。

(イ) **教育方法及び履修指導方法**

地域医療に従事する意欲を高めるため、講義・演習（討論）・実習を各学年にバランス良く配置するなどの配慮をしている。

講義は、地域医療学講座担当教員を中心に、県内の病院及び診療所の医師が現状に基づいた内容で実施するとともに、医療関係者だけでなく、行政担当者、患者の会等、幅広い分野の方々にも依頼し、より広範な知識の習得を目指している。

実習については、県内の地域医療を支えている多数の病院・診療所に依頼するとともに、山梨県医師会及び山梨大学開業医会にも協力を求めるなど、円滑に実習ができるよう配慮しており、また、救急車同乗実習では、県内の各消防署の協力により実施している。

これらの科目に関しては、地域医療学講座担当教員が中心となってコーディネートし、各講座の協力により、学生に対してきめ細やかな指導を行っている。

(ウ) **教員組織の変更内容**

令和5年度において教員組織の変更は伴わない。

(エ) **教員組織及び施設・設備**

教育に必要な専任教員を適切に配置している。また、十分な施設・設備を整えている。

エ 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

- それぞれの校地における学生の収容定員は、甲府キャンパスが125人、医学部キャンパスが750人（図面別添3参照）となっている。

1年次生の授業は、1週間のうち甲府キャンパスで3日間、医学部キャンパスで2日間と講義内容で分かれているため、教員の移動は伴わず、教育研究上、時間割上ともに支障は生じない。

また、移動が必要な学生についても、両キャンパスを結ぶシャトルバスの運行により、負担軽減を図っている。

● その他

本学では、県内の医師不足と地域偏在の解消を図るため、次のような組織を中心として取り組んでいる。

「山梨県地域医療支援センター」

平成 25 年度に、医学部附属病院内に地域枠卒業医師等のキャリア形成支援と地域の医師不足病院の医師確保の支援を一体的に行うことを目的とした「山梨県地域医療支援センター」を県と本学の連携により設置した。
(資料 6)

同センターでは、医師不足の現況等の把握・分析を行い、また、地域枠卒業医師に対する臨床研修・研究などのキャリア形成支援により、医師不足と地域偏在の解決に取り組んでいる。

医学部の収容定員変更の趣旨等を記載した書類資料一覧

資料 1 山梨県医師修学資金貸与制度のしおり（令和 5 年度版）

資料 2 山梨県の医師の状況

資料 3 卒業生就職先内訳

資料 4 地域医療学シラバス

資料 5 学部入門ゼミ（ECE）シラバス

資料 6 山梨県地域医療支援センターについて

資料 7 教育課程等の概要

補足資料 令和 6 年度入学定員増員計画

山梨県医師修学資金貸与制度 のしおり

(令和5年度版)

山梨県福祉保健部 医務課

目 次

第 1	制度のあらまし	1
第 2	キャリア形成プログラムに基づく契約について	3
第 3	申込み手続き	04
第 4	貸与の決定	06
第 5	貸与契約の解除、貸与の休止・保留	7
第 6	返還の免除	08
第 7	返還・猶予	11
第 8	異動と届出	12

第1 制度のあらまし

山梨県医師修学資金制度は、将来、山梨県内の公立病院等の医師として従事しようとする医学生等に対して、山梨県が修学資金を貸与する制度です。

貸与を受けた医学生等が、医師免許取得後、一定期間、県内の公立病院等で勤務した場合、修学資金の返還が免除されます。

種 別	第一種医師修学資金	第二種医師修学資金	第三種医師修学資金
貸与対象者	次の要件を全て満たす者 ①大学の医学を履修する課程に在学していること ②将来、県内の公立病院等に医師として勤務する意思があること	次の要件を全て満たす者 ①・山梨大学医学部医学科に在学していること または ・北里大学の医学部医学科に山梨県地域枠で入学し、在学していること ②将来、県内の特定公立病院等に医師として勤務する意思があること	次の要件を全て満たす者 ①山梨大学大学院の医学を履修する課程に在学していること ②医師免許を取得していること ③将来、県内の公立病院等に医師として勤務しようとする意思があること
貸与月額	50,000円 (6年間：3,600,000円)	130,000円 (6年間：9,360,000円)	50,000円 (4年間：2,400,000円)
貸与人数	①山梨大学：5人 ②県外大学：5人 ・1年生を優先するが、貸与枠に余裕がある場合、 <u>2年生以上にも貸与する。</u> ・貸与人数は、調整する場合がある。	①山梨大学：40人 ・一般枠入学者 ・地域枠入学者(※1) ②北里大学：2人 ・地域枠入学者のみ	○山梨大学大学院：5人 ・貸与人数は、調整する場合がある。
貸与期間	貸与決定の年から、大学の正規の修業年限まで	同 左	貸与決定の年から、大学院の正規の修業年限まで
返還にあたっての金利	年 10%		
利息適用期間	臨床研修を開始した日から返還事由が生じた日まで	臨床研修を開始した日から返還事由が生じた日まで	貸与を受けた日の翌日から返還事由が生じた日まで

種 別	第一種医師修学資金	第二種医師修学資金	第三種医師修学資金
返還債務免除要件	<p>次の要件を全て満たした場合</p> <p>① 卒業後2年以内に医師の免許を取得</p> <p>② 医師免許取得後、6年を経過するまでに3年間、県内の公立病院等（※2）において診療に従事</p> <p>③ 県内病院が実施する臨床研修を修了（※5）</p>	<p>次の要件を全て満たした場合</p> <p>① 卒業後2年以内に医師の免許を取得</p> <p>② 医師免許取得後、貸与期間の5/2に相当する期間を経過するまでに貸与期間の3/2に相当する期間、知事が指定する（※3）県内の特定公立病院等（※4）において診療に従事</p> <p>③ 県内病院が実施する臨床研修を修了（※5）</p> <p>④ 専門研修を受ける場合は、県内病院が実施する専門研修を修了（※6）</p>	<p>次の要件を全て満たした場合</p> <p>○ 修了又は退学後から引き続き3年間、県内の公立病院等において診療に従事</p>

キャリア形成プログラムに基づく契約について ※詳細は次頁	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度以降の地域枠入学者については、医師国家試験合格後、「山梨県地域枠等医師キャリア形成プログラム」に基づく契約を県と結んでいただきます。 医師の確保を図るべき区域等に所在する特定公立病院等に原則4年間以上勤務する必要があります。
キャリア形成卒前支援プランについて	令和5年度からの第1種・第2種貸与者は、大学在籍中は、継続して 山梨県地域枠等医師キャリア形成卒前支援プラン に参加することになります。

（※1）令和2年度以降の地域枠入学者については、第二種医師修学資金の貸与を受けることが要件となります。また、地域枠入学者については、上記の返還債務が免除になる期間について県内の特定公立病院等で勤務する旨の誓約書を提出していただきます。

（※2）公立病院等：官公立病院、救急告示病院 等

（※3）知事の指定は、平成27年度以降の新規貸与者が対象となります。また、知事の指定は、山梨県地域医療支援センター（本人のキャリア形成と一体的に医師不足病院の医師確保を支援するため山梨大学医学部附属病院と山梨県が共同で設置している機関）で調整した後に行います。知事が指定する病院は、キャリア形成プログラムに基づきキャリア形成等を考慮して決定しますが、一定期間（4年以上）県内の医師確保を特に図るべき区域（甲府市と中央市以外の県内）等に所在する病院において医師として従事する必要があります。

（※4）特定公立病院等：官公立病院、臨床研修病院、災害拠点病院、専門研修における基幹病院及び連携病院 等

（※5）県内病院での臨床研修修了は、平成24年度以降の新規貸与者が対象となります。（北里大学及び東京医科大学地域枠入学者は令和2年度以降の新規貸与者が対象になります。）

（※6）県内病院での専門研修修了は、令和2年度以降の新規貸与者が対象となります。

注 貸与の決定、契約の締結に当たっては、必要に応じ、面接等を実施いたします。

また、貸与契約締結期間中は、必要に応じ、報告を求め、又は面接・面談等を実施します。

第2 キャリア形成プログラムに基づく契約について

概要

キャリア形成プログラムとは、医療法及び医師法の一部を改正する法律により、医療法に規定された、医師の確保を特に図るべき区域における医師の確保及び能力開発や向上を図ることを目的として、都道府県が策定する配置方針です。令和3年度地域枠による入学者から適用し、医師修学資金の貸与契約とは別に、地域枠医師として県内の医療機関における就業について、県と医師との間で「山梨県地域枠等医師キャリア形成プログラム」に基づく契約を医師国家試験合格後に締結します。

【山梨県地域枠等医師キャリア形成プログラムの主な内容】

- ・ 医師免許取得後15年間のうち、臨床研修を含め通算9年間で、知事が指定する県内の特定公立病院等に勤務する。
- ・ 県内の臨床研修病院で臨床研修を行う。
- ・ 専門研修を受ける場合は、県内の基幹病院の専門研修プログラムを選択する。
- ・ 医師の確保を図るべき区域等に所在する特定公立病院等に原則4年間以上勤務する。

キャリア形成プログラムを満了する見込みがなくなると認められる場合には、同契約に基づき違約金を課します。

違約金

就業年数に応じて減額していき、県内就業の通算経過年数が9年間で違約金が0となります。なお、「貸与資金＋利息＋違約金」の支払総額は下記のとおりです。

		違約金 ※ 県内就業通算経過年数								
		1年 (7,488)	2年 (6,552)	3年 (5,616)	4年 (4,680)	5年 (3,744)	6年 (2,808)	7年 (1,872)	8年 (936)	9年 (0)
利息 ※ 卒業後年数	1年 (936)	17,784								
	2年 (1,872)	18,720	17,784							
	3年 (2,808)	19,656	18,720	17,784						
	4年 (3,744)	20,592	19,656	18,720	17,784					
	5年 (4,680)	21,528	20,592	19,656	18,720	17,784				
	6年 (5,616)	22,464	21,528	20,592	19,656	18,720	17,784			
	7年 (6,552)	23,400	22,464	21,528	20,592	19,656	18,720	17,784		
	8年 (7,488)		23,400	22,464	21,528	20,592	19,656	18,720	17,784	
	9年 (8,424)			23,400	22,464	21,528	20,592	19,656	18,720	17,784
	10年 (9,360)				23,400	22,464	21,528	20,592	19,656	18,720
	11年 (10,296)					23,400	22,464	21,528	20,592	19,656
	12年 (11,232)						23,400	22,464	21,528	20,592
	13年 (12,168)							23,400	22,464	21,528
	14年 (13,104)								23,400	22,464
	15年 (14,040)									23,400

※支払総額には、貸与資金9,360千円を含む。

※義務違反が確定した日より、日割りの違約金等が発生する場合があります。

※就業義務を果たせなかった理由がやむを得ないものとして認められる場合には利息、違約金ともに減額又は免除します。ただし、結婚、介護、子育て（産休・育休を除く）、家業の承継等多くの者が経験する事情については考慮しません。

第3 申込み手続き

山梨大学医学部生・山梨大学大学院生の方へ

募集期間内に、「医師修学資金貸与申請書」（第1号様式）に次の書類を添えて、山梨大学甲府キャンパス又は医学部キャンパスへ申込みをしてください。

医師修学資金貸与申請書類

- 医師修学資金貸与申請書（第1号様式）
- 本人の住民票の写し（本籍が記載され、申請の日前2月以内に発行されたもの）
※注 個人番号が記載された住民票の写しは受理できませんので、記載しないでください
- 連帯保証人の令和4年分所得を証明する書類及び印鑑証明書
※ 別紙所得証明用紙に連帯保証人が必要事項を記入し、記名捺印したもの。所得額を確認できる書類（源泉徴収票の写し、確定申告書の写し等）を添付すること。
※ 連帯保証人について
申請に当たっては、以下の要件を満たす2名の連帯保証人が必要です
①独立の生計を営む者（連帯保証人同士が同一生計を営んでいないこと）
②修学資金の貸与を受ける者が未成年者の場合は、連帯保証人のうち一人は、親権者又は後見人
③一定の所得がある者（貸与全額の概ね1/3以上の所得がある者）
- 医師免許証の写し（第3種医師修学資金の貸与申請者のみ）

問合せ・申込み先

- 山梨大学甲府キャンパス
山梨大学教学支援部学生支援課奨学支援グループ
〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37 Tel 055-220-8053
- 山梨大学医学部キャンパス
山梨大学教学支援部学務課
〒409-3898 山梨県中央市下河東1110 Tel 055-273-9346

北里大学医学部生（山梨県地域枠入学者）の方へ

募集期間内に、「医師修学資金貸与申請書」（第1号様式）に次の書類を添えて、北里大学医学部事務室へ申込みをしてください（申請書は山梨県医務課のホームページからもダウンロードできます）。

医師修学資金貸与申請書類

- 医師修学資金貸与申請書（第1号様式）
- 本人の住民票の写し（本籍が記載され、申請の日前2月以内に発行されたもの）
※注 個人番号が記載された住民票の写しは受理できませんので、記載しないでください
- 連帯保証人の令和4年分所得を証明する書類及び印鑑証明書
※ 別紙所得証明用紙に連帯保証人が必要事項を記入し、記名捺印したもの。所得額を確認できる書類（源泉徴収票の写し、確定申告書の写し等）を添付すること。
※ 連帯保証人について
申請に当たっては、以下の要件を満たす2名の連帯保証人が必要です
①独立の生計を営む者（連帯保証人同士が同一生計を営んでいないこと）
②修学資金の貸与を受ける者が未成年者の場合は、連帯保証人のうち一人は、親権者又は後見人
③一定の所得がある者（貸与全額の概ね1/3以上の所得がある者）

問合せ・申込み先

- 北里大学医学部 事務室学生課
〒252-0374 神奈川県相模原市南区北里1-15-1 Tel 042-778-9041

県外大学医学部生の方へ

募集期間内に、「医師修学資金貸与申請書」（第1号様式）に次の書類を添えて、山梨県医務課まで申込みをしてください（申請書は山梨県医務課のホームページからもダウンロードできます）。

医師修学資金貸与申請書類

- 医師修学資金貸与申請書**（第1号様式）
- 本人の住民票の写し**（本籍の記載されたもの。申請の日前2月以内に発行されたもの）
※注 個人番号が記載された住民票の写しは受理できませんので、記載しないでください
- 連帯保証人の令和4年分所得を証明する書類及び印鑑証明書**
※ 別紙所得証明用紙に連帯保証人が必要事項を記入し、記名捺印したもの。所得額を確認できる書類（源泉徴収票の写し、確定申告書の写し等）を添付すること
※ 連帯保証人について
申請に当たっては、以下の要件を満たす2名の連帯保証人が必要です
①独立の生計を営む者（連帯保証人同士が同一生計を営んでいないこと）
②修学資金の貸与を受ける者が未成年者の場合は、連帯保証人のうち一人は、親権者又は後見人
③一定の所得がある者（貸与全額の概ね1/3以上の所得がある者）
- 在学証明書**
- レポート（地域医療に対する考えを800字程度で）**

問合せ・申込み先

山梨県福祉保健部医務課 医療企画担当 医師修学資金係
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
Tel 055-223-1480 Fax 055-223-1486

第4 貸与の決定

申請者から「医師修学資金貸与申請書」の提出があった後、山梨県において書類審査を行い、その結果について直接申請者あて郵送します。

山梨県が貸与を決定すべきと判断した方については、その後山梨県との間で速やかに契約を取り交わし、修学資金の貸与を開始します。

1 契約の締結

□ 「医師修学資金貸与契約書」（第2号様式）：2通

《手順》

- ① 医学生と連帯保証人が記名、捺印（印鑑登録されている印）
- ② 2通の内、1通に所定の金額の**収入印紙**を貼付、医学生が**割印を捺印**
- ③ 貸与決定通知を受けた日から指定する日までに2通とも山梨県に提出
- ④ 山梨県において、知事印捺印後、1通を医学生あて返送（契約書は保管をお願いします）

※収入印紙の額

貸与開始時の学年	第1種	第2種	第3種
1学年	2,000円	10,000円	2,000円
2学年	2,000円	10,000円	2,000円
3学年	2,000円	10,000円	2,000円
4学年	2,000円	2,000円	1,000円
5学年	2,000円	2,000円	
6学年	1,000円	2,000円	

※提出方法については、簡易書留等、発送した記録が残る方法で発送してください（送料はご負担ください）。または、指定された期間・場所（山梨大学又は山梨県庁福祉保健部医務課を予定）へ書類を直接持参してください。

□ 「医師修学資金口座届」（別紙1）：1通

口座の情報が分かる紙をつけて、上記契約書と共に山梨県に提出してください。

□ 「誓約書」（貸与決定通知送付時に様式を送付）：1通

上記契約書とともに山梨県に提出してください。

2 修学資金の貸与

- 貸与期間については、決定のあった年度の4月1日から貸与されるものとして取扱います。
- 3ヶ月分を一括して、6月頃（4～6月分）、7月（7～9月分）、10月（10～12月分）、1月（1～3月分）に指定された銀行口座に振り込む予定です。
ただし、貸与1年目については、貸与決定の事務処理上、4月から9月分を7月にまとめて振り込む予定です。
- 修学生は、修学資金の全額の貸与を受けた際には、「**医師修学資金・医師研修資金借用証書**」（第4号様式）を提出する必要があります。

第5 貸与契約の解除、貸与の休止・保留

1 貸与契約の解除

修学資金貸与者が、次のいずれかに該当するときは、修学資金の貸与契約は解除されます。

- 退学したとき
- 心身の故障のため修学の見込みがなくなると認められるとき
- 学業成績が著しく不良となったと認められるとき
- 修学資金の貸与を受けることを辞退したとき
- 死亡したとき
- その他修学資金の貸与の目的を達成できなくなると認められるとき

貸与契約が解除された場合、修学資金の返還義務が生じます（P 11 参照）

※返還の免除及び猶予については、P 8～11 参照

2 貸与の休止・保留

(1) 貸与の休止

- 修学生が休学し、又は停学の処分を受けたとき：復学するまでの期間
（休止以前に既に貸与された修学資金は、修学生が復学した後の分として貸与されたものと見なします）

〈例〉



※振り込み済の8～9月分は、復学以降の12月～1月分の貸与と見なします。

- 修学生が留年したとき：進級するまでの期間

(2) 貸与の一時保留

- 修学生が正当な理由がなく、毎年4月15日までに前年度の学業成績証明書を提出しなかったとき

第6 返還の免除

1 返還免除

以下の要件を全て満たすこととなった場合には、修学資金等の返還の債務が全額免除されます。

また、返還債務の免除を受けるために診療に従事している期間中に、業務上の理由により死亡し、又は業務に起因する心身の故障のため医師の業務に従事することができなくなった場合についても、全額免除されます。

(1) 第一種医師修学資金

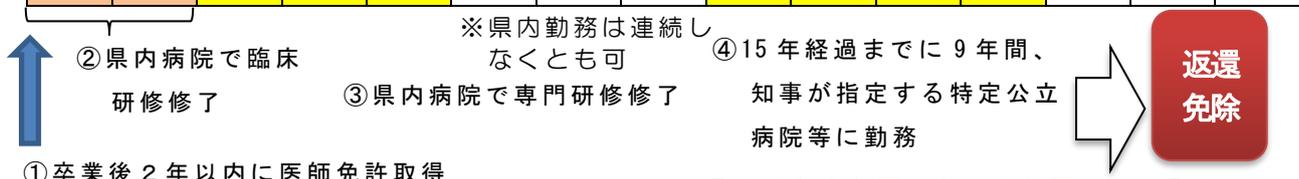
- 大学を卒業した日から起算して2年以内に医師免許を取得していること
- 医師免許を取得した日の属する月から起算して、6年を経過する月までの間(災害、疾病その他やむを得ない理由により診療に従事できない期間は算入しない)に、3年間、山梨県内の公立病院等において診療に従事すること
- 県内の病院が実施する医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修を修了すること(平成24年度以降に新規貸与を受けた場合)

(2) 第二種医師修学資金

- 大学を卒業した日から起算して2年以内に医師免許を取得していること
- 医師免許を取得した日の属する月から起算して、修学資金の貸与を受けた期間の5/2に相当する期間を経過する月までの間(災害、疾病その他やむを得ない理由により診療に従事できない期間は算入しない)に、貸与を受けた期間の3/2に相当する期間、知事が指定する県内の特定公立病院等において診療に従事すること
- ※ 6年間貸与を受けた場合は15年経過するまでに9年間従事。
- ※ 知事の指定は、平成27年度以降に新規貸与を受けた方が対象です。
知事の指定は、山梨県地域医療支援センター(本人のキャリア形成と一体的に医師不足病院の医師確保を支援するため山梨大学医学部附属病院と山梨県が共同で設置している機関)で調整した後に行います。知事が指定する病院は、キャリア形成プログラムに基づきキャリア形成等を考慮して決定しますが、一定期間(4年以上)県内の医師確保を特に図るべき区域に所在する病院において医師として従事する必要があります。令和3年度以降の地域枠入学者については、医師国家試験合格後、「山梨県地域枠等医師キャリア形成プログラム」に基づく契約を県と結んでいただきます。
- 県内の病院が実施する医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修を修了すること(平成24年度以降に新規貸与を受けた場合)(北里大学及び東京医科大学地域枠入学者は令和2年度以降に新規貸与を受けた場合)
- 専門研修を受ける場合は、県内の病院が実施する専門研修を修了すること(令和2年度以降に新規貸与を受けた場合)

〈例〉 第二種医師修学資金の貸与を6年間受けた場合

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目
県内1	県内2	県内3	県内4	県内5 医師確保区域	県外	県外	県外	県内6 医師確保区域	県内7 医師確保区域	県内8 医師確保区域	県内9			



(3) 第三種医師修学資金

- 大学院の課程を修了、又は退学した日の属する月の翌月から引き続いて、3年間（災害、疾病その他やむを得ない理由により医師の業務に従事できない期間は算入しない）、山梨県内の公立病院等において医師の業務に従事すること

※「公立病院等」「特定公立病院等」（返還免除の対象となる医療機関一覧）

下表の医療機関は、全て「山梨県内の公立病院等」に該当する医療機関です。
そのうちの、 は、「山梨県内の特定公立病院等（第2種の対象）」に該当する医療機関です。
(令和5年4月1日現在)

施設名	開設者	所在地
独立行政法人国立病院機構甲府病院	(独)国立病院機構	甲府市天神町 11-35
山梨大学医学部附属病院	国立大学法人山梨大学	中央市下河東 1110
山梨県立中央病院	地方独立行政法人山梨県立病院機構	甲府市富士見 1-1-1
市立甲府病院	甲府市	甲府市増坪町 366
独立行政法人地域医療推進機構山梨病院	(独)地域医療機能推進機構	甲府市朝日 3-8-31
武川病院	医療法人武川会	昭和町飯喰 1277
甲府城南病院	医療法人慈光会	甲府市上町 753-1
甲府脳神経外科病院	医療法人篠原会	甲府市酒折 1-16-18
甲府共立病院	(公社)山梨勤労者医療協会	甲府市宝 1-9-1
三枝病院	医療法人社団慈成会	甲斐市竜王新町 1440
山梨県立あけぼの医療福祉センター	山梨県	韮崎市旭町上條南割 3313-1
山梨県立北病院	地方独立行政法人山梨県立病院機構	韮崎市旭町上條南割 3314-13
韮崎市国民健康保険 韮崎市立病院	韮崎市	韮崎市本町 3-5-3
北杜市立甲陽病院	北杜市	北杜市長坂町大八田 3954
北杜市立塩川病院	北杜市	北杜市須玉町藤田 773
恵信韮崎相互病院	医療法人聴心会	韮崎市本町 1-16-2
巨摩共立病院	(公社)山梨勤労者医療協会	南アルプス市桃園 340
医療法人徳洲会 白根徳洲会病院	医療法人徳洲会	南アルプス市西野 2294-2
山梨市立牧丘病院	山梨市	山梨市牧丘町窪平 302-2
甲州市立勝沼病院	甲州市	甲州市勝沼町勝沼 950
加納岩総合病院	社会医療法人加納岩	山梨市上神内川 1309
財団法人山梨厚生会 山梨厚生病院	財団法人山梨厚生会	山梨市落合 860
塩山市民病院	財団法人山梨厚生会	甲州市塩山西広門田 433-1
医療法人康麗会 笛吹中央病院	医療法人康麗会	笛吹市石和町市部 47-1
一宮温泉病院	医療法人桃花会	笛吹市一宮町坪井 1745
石和共立病院	(公社)山梨勤労者医療協会	笛吹市石和町広瀬 623
富士温泉病院	一般財団法人山梨整肢更生会	笛吹市春日居町小松 1177
身延町早川町国民健康保険病院一部事務組合 立 飯富病院	身延町早川町国民健康保険病院一部事務組合	身延町飯富 1628
峡南医療センター企業団市川三郷病院	峡南医療センター企業団	市川三郷町市川大門 428-1
峡南医療センター企業団富士川病院	峡南医療センター企業団	富士川町鯉沢 340-1
医療法人峡南病院	医療法人峡南病院	富士川町鯉沢 1806
公益財団法人 身延山病院	(公財)身延山病院	身延町梅平 2483
国民健康保険 富士吉田市立病院	富士吉田市	富士吉田市上吉田東 7-11-1
山梨赤十字病院	日本赤十字社山梨県支部	富士河口湖町船津 6663-1

大月市立中央病院	大月市	大月市大月町花咲 1225
都留市立病院	都留市	都留市つる 5-1-55
上野原市立病院	上野原市	上野原市上野原 3195
医療法人社団青虎会ツル虎ノ門外科リハビリテーション病院	医療法人社団青虎会	都留市四日市場 188
住吉病院	(公財) 住吉借成会	甲府市住吉 4-10-32
山角病院	医療法人山角会	甲府市美咲 1-6-10
HANAZONOホスピタル	(公財) リヴィーズ	甲府市和田町 2968
回生堂病院	医療法人回生堂病院	都留市四日市場 270
日下部記念病院	社会医療法人加納岩	山梨市上神内川 1363
韮崎東ヶ丘病院	医療法人韮崎東ヶ丘病院	韮崎市穂坂町宮久保 1216
峡西病院	医療法人南山会	南アルプス市下宮地 421
三生会病院	(公財) 三成会	上野原市上野原 1185
その他県、市町村、国民健康保険組合が開設する診療所		

※医療機関の認定状況等により変動することがあります。(詳しくはお問い合わせください)

2 勤務期間の計算

- 勤務期間については、勤務を始めた日の属する月から、勤務しなくなった日の属する月までの月数により計算します。
休職(停職)の期間があるときは、休職(停職)になった日の属する月から休職(停職)が終了した日の属する月までは勤務期間から除かれます。
- 原則として常勤医(1週間当たり31時間以上勤務する非常勤医を含む)として勤務していた期間を勤務期間として取り扱います。
なお、第一種医師修学資金、第二種医師修学資金の貸与を受けた者が、勤務しながら山梨大学医学部大学院の医学を履修する課程に在学している場合も、対象医療機関で勤務していれば返還債務免除のための期間として取り扱います。

3 裁量免除

修学資金の貸与を受けた者が、死亡、重度心身障害その他やむを得ない理由により貸与を受けた修学資金等を返還することができなくなったときは、知事の裁量により、返還義務が免除される場合があります。

4 免除の申請

修学資金等の返還の免除を受けようとする場合には、免除事由が生じた後速やかに「**医師修学資金・医師研修資金等返還債務免除申請書**」(第6号様式)を提出してください。

《医師修学資金・医師研修資金等返還債務免除申請書 添付書類》

- 免除事由に該当することを証明する書類
(例) 当然免除の場合 **就業証明書**(別紙5)(全勤務機関分)
裁量免除の場合 **心身の故障を証明する医師の診断書等**

第7 返還・猶予

1 返 還

修学資金貸与者が、次のいずれかに該当するときは、当該理由が生じた日の属する月の翌月の末日までに、利息適用期間(※)に応じ、**年10%の割合で計算した利息を付して、貸与を受けた修学資金を全額一括返還**しなければなりません。

※利息適用期間

第1種・第2種修学資金貸与者：臨床研修を開始した日から当該理由が生じた日まで

第3種 修学資金貸与者：貸与を受けた日の翌日から当該理由が生じた日まで

- 修学資金の貸与契約が解除されたとき（P7参照）
- 修学資金の貸与を受けた者が、大学を卒業し、又は大学院の課程を修了し、若しくは退学した後、死亡したとき（免除になる場合を除く）
- 第一種医師修学資金又は第二種医師修学資金の貸与を受けた者が、大学を卒業した日から起算して2年以内に医師免許を取得することができなかったとき
- その他修学資金の貸与の目的を達成する見込みがなくなると認められるとき

※ 正当な理由がなく修学資金を返還すべき日までにこれを返還しなかったときは、返還すべき額につき年14.5%の割合で延滞利息を支払わなければなりません。

2 返還の猶予

修学資金貸与者が、次のいずれかに該当するときは、当該事由が継続する期間は、修学資金等の返還の猶予が受けられます。

- 第一種医師修学資金又は第二種医師修学資金の貸与を受けた者が、引き続き大学に在学しているとき
- 第三種医師修学資金の貸与を受けた者が、引き続き大学院に在学しているとき
- 修学資金の貸与を受けた者が、災害、疾病その他やむを得ない理由により修学資金等を返還することが困難であると認められるとき

3 返還の猶予の手続き

返還の猶予を受けようとする者は、猶予の事由が生じた日から起算して14日以内に「**医師修学資金・医師研修資金等返還債務猶予申請書**」（第7号様式）に当該猶予の事由を証明する書類を添えて提出しなければなりません。

（例）災害の場合 **市町村の発行する罹災証明書** など
疾病の場合 **医師の診断書** など

第8 その他（異動と届出）

1 大学在学中、大学院在学中の届出

(1) 定期届出

毎年4月15日（修学資金の貸与が決定された日の属する年を除く。）までに、前年度の**学業成績を証明する書類（学長等の証明のある成績証明書）**を提出してください。

(2) 異動届出

次のいずれかに該当することとなった場合には、**直ちに「状況届」（第8号様式）にその事実を証するに足る書類**を添えて提出してください。

- 氏名、本籍又は住所を変更したとき
- 休学し又は国内外へ留学し、もしくは停学の処分を受け、又は復学したとき
- 留年したとき
- 退学したとき
- 卒業し、又は課程を修了したとき
- 連帯保証人の氏名、本籍、住所又は職業に変更があったとき
- 医師免許を取得したとき

2 大学卒業後、大学院修了（又は退学）後の届出

(1) 定期届出

毎年4月15日までに、4月1日現在の「現況届」（第9号様式）を提出してください。

(2) 異動届出

次のいずれかに該当することとなった場合には、**直ちに「状況届」（第8号様式）にその事実を証するに足る書類**を添えて提出してください。

- 氏名、本籍又は住所を変更したとき
- 連帯保証人の氏名、本籍、住所又は職業に変更があったとき
- 医師免許を取得したとき
- 医師の業務（臨床研修を含む）に従事し、又は従事しなくなったとき
- 医師の業務（臨床研修を含む）に従事する施設を変更したとき

3 その他の届出

- 修学資金受貸与者が死亡したとき
連帯保証人は、速やかに**「死亡届」（第10号様式）**を提出してください。
- 連帯保証人が死亡し、破産手続き開始の決定を受け、若しくは連帯保証人として適当でない事由が生じたとき又は連帯保証人を変更しようとするとき
新たに連帯保証人を定めて、速やかに**「医師修学資金・医師研修資金等保証人変更願」（第3号様式）**に次に掲げる書類を添えて提出し、山梨県の承認を受ける必要があります。
 - ① 新たな連帯保証人の所得を証する書類
 - ② 新たな連帯保証人の印鑑証明書

やまなしの医師確保 検索



申請書は、山梨県庁のホームページからダウンロードできます

https://www.pref.yamanashi.jp/imuka/ishikakuho/kakuhojigyo/shugakushikin_todokede.html

【問合せ先】

- ◎ 山梨県福祉保健部医務課 医療企画担当
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内 1-6-1
Tel 055-223-1480 Fax 055-223-1486

- ◎ 山梨大学甲府キャンパス
山梨大学教学支援部学生支援課奨学支援グループ
〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37
Tel 055-220-8053

- ◎ 山梨大学医学部キャンパス
山梨大学教学支援部学務課福利担当
〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110
Tel 055-273-9346

- ◎ 北里大学医学部 事務室学生課
〒252-0374 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1
Tel 042-778-9041

山梨県の医師の状況

医師数

(単位：人)

	H20. 12. 31	H30. 12. 31	R2. 12. 31	増 減
全 国	286699	327210	339623	52924
山 梨 県	1845	2016	2101	256
中北地区	1257	1407	1481	224
内 峡中	1163	1234	1377	214
内 峡北	94	173	104	10
峡東地区	258	269	271	13
峡南地区	65	60	59	-6
富士・東部地区	265	280	290	25

人口10万人対医師数

(単位：人)

	H20. 12. 31	H30. 12. 31	R2. 12. 31	増 減
全 国	224. 5	258. 8	269. 2	44. 7
山 梨 県	211. 8	246. 8	259. 4	47. 6
中北地区	265. 0	305. 6	322. 2	57. 2
内 峡中	295. 6	337. 0	356. 2	60. 6
内 峡北	116. 4	142. 8	142. 3	25. 9
峡東地区	179. 5	202. 7	209. 3	29. 8
峡南地区	107. 3	120. 9	123. 9	16. 6
富士・東部地区	136. 5	159. 3	168. 0	31. 5

出展：医師・歯科医師・薬剤師調査

卒業生就職先内訳

資料3

卒業年度	地域枠入学者				一般入学者			
	卒業者数 (A)	医師国家試験 不合格者数 (B)	県内就職者数 (C)	県内就職率 (D=C/(A-B))	卒業者数 (E)	医師国家試験 不合格者数 (F)	県内就職者数 (G)	県内就職率 (H=G/(E-F))
平成25年度	24	0	20	83.3%	61	0	24	39.3%
平成26年度	27	0	21	77.8%	95	2	34	36.6%
平成27年度	27	0	24	88.9%	96	5	19	20.9%
平成28年度	36	3	22	66.7%	86	6	21	26.3%
平成29年度	25	2	21	91.3%	85	5	18	22.5%
平成30年度	40	1	39	100.0%	98	7	19	20.9%
平成31・令和元年度	35	1	34	100.0%	69	2	8	11.9%
令和2年度	36	0	36	100.0%	100	12	14	15.9%
令和3年度	32	2	30	100.0%	81	3	17	21.8%
令和4年度	34	1	33	100.0%	70	10	15	25.0%
計	316	10	280	91.5%	841	52	189	24.0%

注：就職者数は、卒業時の就職者である。

授 業 科 目 名			
地域医療学			
担 当 教 員			
針 井 則 一			
時間割番号	単位数	履修年次	期別
DME301	1	1, 2, 3	通期
[学習目標]			
<p>地域医療の現状を理解し、地域医療の魅力と意義を感じるにより、地域医療に従事する意欲を持ち、地域医療に必要な知識と技能、態度を身につける。病院前救護と医療連携を理解し積極的に協力する姿勢を身につける。</p> <p>1) 地域医療に関する知識を習得する。 地域医療の現状と関連法規を概説できる。 地域における病院と診療所の役割を理解する。</p> <p>2) 地域医療に必要な技能を理解する。 ECEで地域医療の現場を体験する 病院における災害訓練を経験する</p> <p>3) 地域医療に必要な態度を身につける。 ECEでチーム医療を体験する 救急隊のチームワークを体験する</p> <p>※ 本授業科目は、「COCコース別専門科目」</p>			

<本授業科目による獲得・涵養が期待されるコンピテンシー（能力・資質）>

医学部>医学科向け

記号	コンピテンシー(能力・資質)	説明	
A	チーム医療の実践		◎
B	医学知識と問題対応能力		○
C	社会における医療の実践		○
D	生涯にわたってともに学ぶ姿勢		○

<到達目標>

目標No	説明	医学
1	地域医療の理念と現状および課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を習得する。	B
2	医学に関する一連の講義を聞くことで医師に必要な教養を深める。	D
3	限られた医療資源で何が出来るか等、災害医療の根本を理解する。	C
4	病院前救護と医療連携の重要性を医療者の立場だけではなく患者やその家族の立場として理解する。	A

<成績評価の方法>

目標No	割合	説明
1	5%	ECE講義 評価
2	5%	教養総合講義 評価
3	30%	トリアージ訓練 評価
4	60%	救急用自動車同乗実習

[授業計画]

1、2、3年次までの講義および実習で総合的に学習する。各実習、講義の詳細については別途概要を掲示する。実習が主となるが、実習後はレポートの提出をオンラインで行う予定である。

【1年次】

教養総合講義、ECEを中心として、地域医療の現状を理解する。

【2年次】

総合防災訓練への参加（ガイダンス・反省会を含む）を必須事項とし、災害医療の面から地域医療を理解する。特段の理由なく不参加の場合は、単位修得が困難となる。

【3年次】

患者が病院に搬送される前の医療を体験する場として、24時間消防署に待機し、救急事案へ同行する救急車同乗実習を行う。また実習後、報告会を開催する。オリエンテーション、事前講義を欠席した者は実習を受けることができないので注意すること。また、エイズ知識普及啓発講習会（12月頃）への出席も必須としている。

1、2、3年次まで実習が中心となっており、実習についてはオリエンテーション・ガイダンス・事前講義など事前学習への出席をもって参加が認められるので出席は必須事項である。特段の理由なく事前学習を欠席、実習を受けない者、レポート未提出者、反省会・発表会・報告会などへの欠席者は単位修得が困難になる。

また、全学年を通して連絡などは随時掲示するので必ず確認すること。

【授業形態】

「面接授業」を行う。尚、感染状況により「ライブ型」「オンデマンド型」も併用して行う。
※オリエンテーション、報告会等は臨床大講堂にて面接授業を行う。
※実習先での対策は各実習先の指示に従い行うものとする。

[実務経験のある教員による授業科目の概要]

医師として実務経験のある教員が、実践的教育を行っている。

[教科書]

石原 晋, 益子 邦洋, プレホスピタルMOOK1・現場活動プロトコール Part1, 永井書店 (ISBN: 4815917515)
石原 晋, 益子 邦洋, プレホスピタルMOOK1・現場活動プロトコール Part2, 永井書店 (ISBN: 4815917647)

[参考書]

授業科目名			
学部入門ゼミ(ECE)			
担当教員			
針井 則一			
時間割番号	単位数	履修年次	期別
DMA101	2	1	前期

[学習目標]

早期臨床体験(ECE: Early Clinical Exposure)は入学したばかりの学生の動機づけを目的とした実習である。この実習は医学的知識や技能の修得を目的としたものではなく、看護を通して患者の身体的・精神的・社会的苦悩を知ること、将来医師となるべき学生諸君がこれから何をすべきかを自覚することである。また医療の現場は多様であり大学病院の医療だけではなく、自らの進路を決めるためにも大学病院以外の様々な医療現場を知る必要がある。実習の事前学習として、地域のさまざまな医療現場で活躍されている医師を招いての講義、また実習への参加に最低限必要な臨床倫理(医の倫理)や接遇マナーについての研修も実施する。

<本授業科目による獲得・涵養が期待されるコンピテンシー(能力・資質)>

医学部>医学科向け

記号	コンピテンシー(能力・資質)	説明	
A	コミュニケーション		○
B	社会における医療の実践		◎
C	生涯にわたってともに学ぶ姿勢		○

<到達目標>

目標No	説明	医学
1	医療を実感し勉学への動機を高める。	C
2	地域医療に貢献している医師の活動を理解する。	C
3	積極的に体験したことを話し合い報告できる。	A
4	ECEの目的を理解する。	C
5	患者に対する人格の尊重、思いやり、共感の態度を身につけ、医療スタッフや患者とのコミュニケーションをとることができる。	B

<成績評価の方法>

目標No	割合	説明
1	20%	実習レポート
2	20%	講義レポート
3	10%	報告会出席、態度、グループワーク
4	40%	講義出席・態度
5	10%	実習先評価

[授業計画]

山梨県の地域医療を担う病院にて2日間、5名程のグループで看護師の補助を行う(日程A・Bあり)。病院により実習内容に多少の違いはあるが医療スタッフ、患者さんとのコミュニケーションが上手くとれることを期待している。病院はすべて公共交通手段および徒歩等で到達できる。

【講義予定】木曜日4限

1. 4月13日: 「地域病院における医師の役割-1」	北杜市立甲陽病院	田中医師
2. 4月20日: 「地域病院における医師の役割-2」	加納岩総合病院	浅利院長
3. 4月27日: 「地域病院における医師の役割-3」	げんきキッズクリニック	宮本院長
4. 5月1日: 「地域病院における医師の役割-4」	飯富病院	朝比奈院長
5. 5月18日: 「病院における看護師の役割」	看護部長	村松看護部長
6. 5月25日: 「地域病院における医師の役割-5」	国立甲府病院	内田医師
7. 6月1日: 「地域病院における医師の役割-6」	市立甲府病院 整形外科	堀内医師
8. 6月8日: 「地域病院における医師の役割-7」	南部町医療センター	市川所長
9. 6月15日: 「地域病院における医師の役割-8」	あすか在宅クリニック	高添院長
10. 6月22日: 「地域病院における医師の役割-9」	山梨県立中央病院	塚本医師
11. 6月29日: 「地域病院における医師の役割-10」	きたむらクリニック	北村院長
12. 7月6日: 「災害医療とは」	救急集中治療医学	森口教授
13. 7月13日: 「地域病院における医師の役割-11」	山梨市立牧丘病院	小澤医師
14. 7月20日: 「医学部卒業後のキャリアパス」	臨床研修センター	板倉教授
15. 7月27日: 「総合診療とは」	地域医療・総合診療学	針井教授

(※上記内容で予定しているが、都合により変更になることがある)

【実習期間】

接遇研修	: 9月 11日(月)	3・4限
グループA	: 9月 12日(火)~13日(水)	
グループB	: 9月 14日(木)~15日(金)	

【報告会】

9月25日(月) 3・4限
(※詳細については後日掲示する)

実習の全容については令和5年度早期臨床体験(ECE)の手引きを参照のこと(7月初旬~中旬頃配布予定)。
「接遇研修」を欠席した者は実習を受けることができないので注意すること(実習不参加は単位修得不可)。
レポートの提出、報告会への出席も必須事項である。特段の理由なくレポート未提出、報告会を欠席の場合は単位の修得が困難になる。
また実習先での評価は単位取得に直接反映される。「不可」等の悪い評価がついた場合には再実習あるいは単位取得が困難となる。

外部講師による講義については別途レポートの提出を求める。どの講義についてのレポートを提出することになるかは後日公表されるので出席は必須である。(録音を聞いて書かれたレポートは受理しない)

【授業形態】

「面接授業」を行う。尚、感染状況により「ライブ型」「オンデマンド型」も併用して行う。

※この科目は地域医療学講座が担当するが、基本的に医学部教育委員会が主催している科目であり、最終的な判定は医学部教育委員会が行う。

[実務経験のある教員による授業科目の概要]

医師として実務経験のある教員が講義を行っている。

[教科書]

[参考書]

山梨県地域医療支援センターについて

【概要】

山梨県では、医師の地域偏在解消と定着を図るため、医師のキャリア形成支援と一体的に医師不足病院の医師確保を支援するため、平成 25 年 4 月に、県医師会などの医療関係団体の協力の下、山梨大学と連携し、山梨県地域医療支援センターを設置しました。

【目的】

- ・ 医師の地域偏在解消
- ・ 地域医療に従事する医師のキャリア形成支援

【設置場所】

山梨県福祉保健部医務課、山梨大学医学部附属病院

【組織】

センター長	山梨大学医学部附属病院長
副センター長	山梨大学医学部附属病院医師、山梨県福祉保健部医務課長
専従職員	事務職員 2 名
運営委員会	山梨県医師会、山梨県民間病院協会、山梨県官公立病院等協議会、自治医科大学同窓会山梨県支部、山梨県立中央病院、市立甲府病院、甲府共立病院、山梨赤十字病院

【事業内容】

- ・ 医師不足状況等の把握・分析
- ・ 医師不足病院の支援
- ・ 医師のキャリア形成支援
- ・ 情報発信と相談への対応
- ・ 地域医療関係者との協力関係の構築

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学部医学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 共通 教育 科目	人間形成科目	生活と健康I	1前	1			○								兼6	※実技
		生活と健康II	1後	1			○								兼8	※実技
		キャリアデザインI (自己理解)	1・2・3・4前・後		2			○							兼1	
		キャリアデザインII (仕事理解)	1・2・3・4前・後		2			○							兼1	
		キャリアデザインIII (キャリアビジョン)	1・2・3・4前		2			○							兼1	
		SDGsから社会を考える	1・2・3・4後		2			○							兼1	
		キャリア形成のための作文演習	1前		2				○						兼1	
		海外で学ぼう-海外職場文化体験I	1・2・3・4前		1				○						兼1	
		海外で学ぼう-海外職場文化体験II	1・2・3・4後		1				○						兼1	
		海外で学ぼう-海外研修・交換留学GatewayI	1・2・3・4前		1				○						兼1	
		海外で学ぼう-海外研修・交換留学GatewayII	1・2・3・4後		1				○						兼1	
	小計 (11科目)	—	2	14	0			—		0	0	0	0	0	兼18	
語学 教育 科目	英語MA	1前	2				○								兼4	
	英語MB	1後	2				○								兼4	
	英語MC	2前		2			○								兼3	
	英語MD	2後		2			○								兼3	
	英語Mリーディング・ライティング	1後		2			○								兼2	
	English for Studying Abroad I	2・3前		4			○								兼1	
	English for Studying Abroad II	2・3後		4			○								兼1	
	e-ラーニングI	1・2・3前		1			○								兼1	
	e-ラーニングII	1・2・3後		1			○								兼1	
	Intensive60-I (英語)	1・2・3前		4				○							兼1	
	Intensive60-II (英語)	1・2・3後		4				○							兼1	
	ドイツ語初級I	1前		2				○							兼5	
	ドイツ語初級II	1後		2				○							兼5	
	ドイツ語演習I	1前		2					○						兼1	
	ドイツ語演習II	1後		2					○						兼1	
	フランス語初級I	1前		2				○							兼2	
	フランス語初級II	1後		2				○							兼2	
	フランス語演習I	1前		2					○						兼1	
	フランス語演習II	1後		2					○						兼1	
	フランス語Intensive60-I	2・3前		4					○						兼1	
中国語初級I	1前		2				○							兼3		
中国語初級II	1後		2				○							兼3		
中国語演習I	1前		2					○						兼2		
中国語演習II	1後		2					○						兼2		
中国語Intensive60-I	2・3前		4					○						兼2	オムニバス	
スペイン語初級I	1前		2				○							兼1		
スペイン語初級II	1後		2				○							兼1		
スペイン語演習I	1前		2					○						兼2		
スペイン語演習II	1後		2					○						兼2		
	小計 (29科目)	—	4	64	0			—		0	0	0	0	0	兼25	
情報・ 数理 教育 科目	データサイエンス入門	1前	2				○								兼1	
	小計 (1科目)	—	2	0	0			—		0	0	0	0	0	兼1	
教養 教育 科目	日本古代の政治と文化	1・2・3・4後		2			○								兼1	
	考古学について	1・2・3・4前		2			○								兼1	
	ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後		2			○								兼1	
	山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4前		2			○								兼1	
	小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4前		2			○								兼1	

日本語表現の現在	1・2・3・4後	2	○							兼1	
子ども文化	1・2・3・4後	2	○							兼1	
日本の近代文学	1・2・3・4後	2	○							兼1	
現代美術入門	1・2・3・4後	2	○							兼1	
ピアノを弾こう	1・2・3・4前	2	○							兼1	
実演・楽器学～管弦打楽器の特性と実践的編曲法～	1・2・3・4後	2	○							兼1	
日本事情I	1・2・3・4前	2	○							兼1	
日本事情II	1・2・3・4後	2	○							兼1	
Intercultural Understanding through Images	1・2・3・4前	2	○							兼6	オムニバス
教育史からみた近代	1・2・3・4前	2	○							兼1	
切り絵と文化	1・2・3・4後	2	○							兼1	
大学生のための言語表現	1・2・3・4前・後	2	○							兼1	
国際理解と多文化共生	2・3・4前	2	○							兼1	
書の様式と鑑賞	1・2・3・4前	2	○							兼1	
ドイツ語圏の文学	1・2・3・4後	2	○							兼1	
美術と活動と社会	1・2・3・4後	2	○							兼1	
外国人の子どもと教育	2・3・4前	2	○							兼1	集中
ソクラテスの哲学	1・2・3・4前	2	○							兼1	
世界の中の日本	1・2・3・4後	2	○							兼1	
音楽基礎研究	1・2・3・4前	2	○							兼1	
日本国憲法	1・2・3・4前・後	2	○							兼3	
住まいの地方性	1・2・3・4前	2	○							兼1	
特別支援教育総論	1・2・3・4前	2	○							兼1	
生活設計論	1・2・3・4前	2	○							兼1	
人間理解の心理学	1・2・3・4前・後	2	○							兼3	
教育問題から見た現代社会	1・2・3・4後	2	○							兼1	
保育・子育ての現在	1・2・3・4前	2	○							兼1	
子どもとジェンダー	2・3・4前	2	○							兼1	
資本市場の役割と証券投資	1・2・3・4前	2	○							兼12	オムニバス
発達と障害	1・2・3・4後	2	○							兼1	
現代教育政策論	1・2・3・4後	2	○							兼1	
幼児期における特別支援教育	1・2・3・4前	2	○							兼1	
フューチャーサーチ	1・2・3・4前	2	○							兼4	オムニバス、集中
心理学への誘い	1・2・3・4前・後	2	○							兼2	
Language and Communication across Cultures	1・2・3・4前	2	○							兼1	
ボランティアとサービスラーニング	1・2・3・4前・後	2	○							兼1	
保育と社会	1・2・3・4前	2	○							兼1	
土木環境のコミュニケーション	1・2・3・4後	2	○							兼6	共同（一部）
みんなの法学	1・2・3・4前	2	○							兼1	
Health System and Well-being in the World	1・2・3・4前	2	○							兼1	
消費者教育	1・2・3・4前	2	○							兼1	
政治とグローバル・イシュー	2・3・4後	2	○							兼1	
大学入学から考えるアメリカ社会	1・2・3・4後	2	○							兼1	
グローバルヘルスの課題解決に挑戦！フィールドワーク計画を立てよう	1・2・3・4前・後	2	○							兼1	集中
観光政策科学概論A	1・2・3・4前	2	○							兼2	オムニバス
家庭の中のエレクトロニクス	1・2・3・4前	2	○							兼3	オムニバス
人間とコンピュータ	1・2・3・4後	2	○							兼4	オムニバス
ワインと宝石	1・2・3・4前	2	○							兼13	オムニバス
これからの機械技術	2・3・4前	2	○							兼4	オムニバス
一般相対性理論への招待	1・2・3・4後	2	○							兼1	
クリスタルサイエンス	1・2・3・4後	2	○							兼10	オムニバス、共同（一部）
生命科学と社会	1・2・3・4前	2	○							兼1	
水圏植物の生物学	1・2・3・4後	2	○							兼1	
数学的見方	1・2・3・4後	2	○							兼1	
ガイア仮説と地球システム科学	1・2・3・4前	2	○							兼1	
物理パズルで親しむ身近な自然現象	1・2・3・4後	2	○							兼1	
自然災害と都市防災	1・2・3・4前	2	○							兼2	オムニバス
光る分子の科学	1・2・3・4前	2	○							兼1	
生命を科学する	1・2・3・4後	2	○							兼5	オムニバス
自然科学と環境	2・3・4後	2	○							兼12	オムニバス
地球環境化学とエネルギー	2・3・4後	2	○							兼1	
地球科学の未解決問題	1・2・3・4後	2	○							兼1	

		プラスチックの科学	1・2・3・4後	2		○															兼1		
		数学的に考えるとは	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		超小型電動車の仕組みとその強度評価	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		富士山学	1・2・3・4後	2		○																兼10	オムニバス
		生命科学入門	2・3・4後	2		○																兼4	オムニバス
		情報処理及び実習	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		食から見える世界いろいろ	2・3・4前	2		○																兼14	オムニバス
		ソフトウェアプロジェクト管理	2・3・4前	2		○																兼1	
		メカトロニクス入門	2・3・4後	2		○																兼2	オムニバス
		電気系エンジニアのための日本語リテラシ	2・3・4前	2		○																兼1	
		人と社会の情報化	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		つながりの数学	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		数と三角関数	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		数理解モデル入門	1・2・3・4後	2		○																兼2	オムニバス
		ワイン製造演習及び体験学習	1・2・3・4前	2							○											兼2	オムニバス、英語(1期)、数学
		安全環境化学	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		半導体プロセス工学	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		都市計画	1・2・3・4後	2		○																兼3	オムニバス
		環境生態学	1・2・3・4後	2		○																兼2	オムニバス
		情報理論	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		パワーエレクトロニクス	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		電力伝送工学	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		計測センシング工学	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		加工学I	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		こころと体の障害の理解と支援	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		現代生活とバイオテクノロジー	1・2・3・4後	2		○																兼12	オムニバス
		医工学と現代社会	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		頭と身体の運動学	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		医療の最先端	1・2・3・4前	2		○				9	3	2										兼1	オムニバス、一部共同
		社会における看護と介護	1・2・3・4後	2		○																兼16	オムニバス
		人体の生命科学	1・2・3・4前	2		○				9	3	2	2									兼1	オムニバス、英語(1期)
		運動遊び	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		健康とスポーツの科学	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		臨床心理学を学ぶ	1・2・3・4後	2		○																兼3	オムニバス
		現代の体育・スポーツを考える	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		教養としてのジェンダー	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		こころの健康づくり	1・2・3・4後	2		○																兼2	オムニバス、英語(1期)
		不登校事例を通して学ぶ発達臨床心理学	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		グローバルヘルス入門	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		運動学習とスポーツ	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		病気の子どもを取り巻く社会の現状と課題	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		生活習慣と健康行動	1・2・3・4前	2		○																兼1	
		身近な健康情報を科学する	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		大学生のためのセルフマネジメント	1・2・3・4前	2		○																兼3	オムニバス
		食物科学入門	1・2・3・4後	2		○																兼1	
		社会の中の医療・医学	1後	2		○				4		1										兼11	オムニバス、英語(1期)
		小計 (113科目)	—	2	224	0	—	—	—	22	6	5	2	0								兼218	
専 門 教 育 科 目	基 礎 教 育 科 目	学部入門ゼミ (ECE)		2			○		○	1													
		物理学		2			○			1													
		化学		2			○			1													
		ヒトの体と病気		1			○															兼9	オムニバス
		生物		1			○					1											
		生命科学	1	1			○			1													
		教養総合講義		1			○															兼11	オムニバス
		数学1		1			○			1													
		数学2		1			○			1													
		データサイエンス1		1			○				1												
		人類遺伝学		1			○			1													
		生命科学実習		1			○			1													
		データサイエンス2	2	1			○				1												
		倫理学・プロフェッショナルリズム	3	1			○					1										兼3	オムニバス
		小計 (14科目)	—	17			—	—	—	8	2	2	0	0								兼23	

基礎医学系	生化学A	1	2			○	○		3	1		3			
	実験医学・生命情報		1			○			1						オムニバス
	解剖学A (組織学講義・実習)		2			○		○	2		1	2			
	解剖学B (肉眼解剖学講義・実習)		4			○		○	2		2	1			
	生理学	2	3			○		○	2	1		2			
	生化学B		2			○		○	3	1		3			
神経科学		3			○		○	6	2	1	7				
小計 (7科目)		—	17			—		19	5	4	18	0			
臨床基礎医学系	感染免疫学総論	2	1			○			2	2		3			
	薬理学		2			○		○	1	1					
	病理学A		1			○		○	1			1			
	病理学B	3	1			○		○	1	2					
	微生物学		2			○		○	1	1		2			
	免疫・寄生虫学		1			○			1	1		1			
	臨床薬理学・薬剤学		1			○									兼1
小計 (7科目)		—	9			—		7	7	0	7	0		兼1	
社会医学系	法医学		1			○			1	1					
	社会環境医学	4	3			○			2	1		4			
	行動科学		1			○	○		2	1		4			
	社会医学実習	6	1					○	2	1		4			
	小計 (4科目)		—	6			—		7	4	0	12	0		
臨床医学系	地域医療学	1~3	1			○		○							
	循環器/呼吸器		6			○									兼19
	消化器		5			○									兼19
	内分泌/代謝/腎臓/膠原病	3	5			○									兼12
	免疫/アレルギー/血液		6			○									兼26
	腎泌尿器/生殖器/外傷/再建外科/漢方		5			○									兼20
	神経/筋/精神		6			○									兼14
	皮膚/運動器/感覚器	4	5			○									兼11
	周産期/麻酔/医療安全		5			○									兼14
	感染制御学		1			○			2	2		3			オムニバス
	診断学入門	4	1			○		○	1						オムニバス
	臨床推論		2			○			1			1			オムニバス
	消化器内科学		1					○		1	2	5			
	循環器・呼吸器科内科学		1					○	2		1	6			
	糖尿病内分泌・腎臓・リウマチ膠原病内科学		1					○	2	1	2	3			
	神経内科学		1					○	1	1					
	血液内科学		1					○	1	1	1	2			
	小児科学		1					○	1		4				
	精神神経医学		1					○	1		3	5			
皮膚科学		1					○	1		3	5				
外科学1		1					○	1	1	2	4				
外科学2		1					○	1	1	2	4				
整形外科		1					○	1		3	2				
脳神経外科学		1					○	1		2	4				
麻酔科学	4~5	1					○	1	2	2					
産科学		1					○	1	3	1	4				
婦人科学		1					○	1	3	1	4				
泌尿器科学		1					○	1	1	1	3				
眼科学		1					○	1	1	1	5				
耳鼻咽喉科学		1					○	1		2	3				
放射線医学		1					○	1	1	2	4				
歯科口腔外科学		1					○	1	1	1					
臨床検査医学		1					○	1	1	1	1				
人体病理学		1					○	1	2		1				
救急医学		1					○	1		1	3				
地域医療学		1					○	1							
内科 (必修1)		3					○	6	4	6	16				
内科 (必修2)		3					○	6	4	6	16				
外科 (必修)		3					○	4	2	9	14				

臨床実習	産婦人科 (必修)		3				○	1	3	1	4			
	小児科 (必修)		3				○	1		4				
	精神科 (必修)		3				○	1		3	5			
	総合診療 (必修)		3				○	1	1					
	選択科 1	5~6	3				○	25	21	38	68			
	選択科 2		3				○	25	21	38	68			
	選択科 3		3				○	25	21	38	68			
	選択科 4		3				○	25	21	38	68			
	選択科 5		3				○	25	21	38	68			
	選択科 6		3				○	25	21	38	68			
選択科 7	3					○	25	21	38	68				
A C C I	選択科 8		3				○	25	21	38	68			
	選択科 9		3				○	25	21	38	68			
	臨床医学研究 (CBL、医学統計、医療バイオインフォマティクス、医学英語)	4~6	2			○		1	1					
	CPC	5~6	1			○		1						
	小計 (54科目)	-	123			-		30	23	38	72			
	総合医学研究	6	1			○	○	1	1					
	小計 (1科目)	-	1			-		1	1					
合計 (241科目)		-	183	302	0	-		40	27	41	113			
学位又は称号		学士 (医学)		学位又は学科の分野			医学							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
全学共通教育科目から32単位以上 専門教育科目は必修科目の173単位を修得しなければならない							1 学年の学期区分		2期					
							1 学期の授業期間		15週					
							1 時限の授業時間		90分					

教育課程等の概要															
(医学部医学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	人間形成科目	生活と健康I	1前	1			○								兼6 ※実技
		生活と健康II	1後	1			○								兼8 ※実技
		キャリアデザインI(自己理解)	1・2・3・4前・後		2		○								兼1
		キャリアデザインII(仕事理解)	1・2・3・4前・後		2		○								兼1
		キャリアデザインIII(キャリアビジョン)	1・2・3・4前		2		○								兼1
		SDGsから社会を考える	1・2・3・4後		2		○								兼1
		キャリア形成のための作文演習	1前		2			○							兼1
		海外で学ぼう-海外職場文化体験I	1・2・3・4前		1			○							兼1
		海外で学ぼう-海外職場文化体験II	1・2・3・4後		1			○							兼1
		海外で学ぼう-海外研修・交換留学GatewayI	1・2・3・4前		1			○							兼1
		海外で学ぼう-海外研修・交換留学GatewayII	1・2・3・4後		1			○							兼1
	小計(11科目)	—	2	14	0		—		0	0	0	0	0	兼18	
語学教育科目	英語MA	1前	2			○								兼4	
	英語MB	1後	2			○								兼4	
	英語リーディング・ライティング	1後		2		○								兼2	
	English for Studying Abroad I	2・3前		4		○								兼1	
	English for Studying Abroad II	2・3後		4		○								兼1	
	e-ラーニングI	1・2・3前		1		○								兼1	
	e-ラーニングII	1・2・3後		1		○								兼1	
	Intensive60-I(英語)	1・2・3前		4			○							兼1	
	Intensive60-II(英語)	1・2・3後		4			○							兼1	
	ドイツ語初級I	1前		2		○								兼5	
	ドイツ語初級II	1後		2		○								兼5	
	ドイツ語演習I	1前		2			○							兼1	
	ドイツ語演習II	1後		2			○							兼1	
	フランス語初級I	1前		2		○								兼2	
	フランス語初級II	1後		2		○								兼2	
	フランス語演習I	1前		2			○							兼1	
	フランス語演習II	1後		2			○							兼1	
	フランス語Intensive60-I	2・3前		4			○							兼1	
	中国語初級I	1前		2		○								兼3	
	中国語初級II	1後		2		○								兼3	
中国語演習I	1前		2			○							兼2		
中国語演習II	1後		2			○							兼2		
中国語Intensive60-I	2・3前		4			○							兼2 オムニバス		
スペイン語初級I	1前		2		○								兼1		
スペイン語初級II	1後		2		○								兼1		
スペイン語演習I	1前		2			○							兼2		
スペイン語演習II	1後		2			○							兼2		
	小計(27科目)	—	4	60	0		—		0	0	0	0	0	兼25	
情報・数理教育科目	データサイエンス入門	1前	2			○								兼1	
	小計(1科目)	—	2	0	0		—		0	0	0	0	0	兼1	
教養教育科目	日本古代の政治と文化	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	考古学について	1・2・3・4前		2		○								兼1	
	ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4前		2		○								兼1	

小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4前	2	○							兼1	
日本語表現の現在	1・2・3・4後	2	○							兼1	
子ども文化	1・2・3・4後	2	○							兼1	
日本の近代文学	1・2・3・4後	2	○							兼1	
現代美術入門	1・2・3・4後	2	○							兼1	
ピアノを弾こう	1・2・3・4前	2	○							兼1	
実演・楽器学～管弦打楽器の特性と実践的編曲法～	1・2・3・4後	2	○							兼1	
日本事情I	1・2・3・4前	2	○							兼1	
日本事情II	1・2・3・4後	2	○							兼1	
Intercultural Understanding through Images	1・2・3・4前	2	○							兼6	オムニバス
教育史からみた近代	1・2・3・4前	2	○							兼1	
切り絵と文化	1・2・3・4後	2	○							兼1	
大学生のための言語表現	1・2・3・4前・後	2	○							兼1	
国際理解と多文化共生	2・3・4前	2	○							兼1	
書の様式と鑑賞	1・2・3・4前	2	○							兼1	
ドイツ語圏の文学	1・2・3・4後	2	○							兼1	
美術と活動と社会	1・2・3・4後	2	○							兼1	
外国人の子どもと教育	2・3・4前	2	○							兼1	集中
ソクラテスの哲学	1・2・3・4前	2	○							兼1	
世界の中の日本	1・2・3・4後	2	○							兼1	
音楽基礎研究	1・2・3・4前	2	○							兼1	
日本国憲法	1・2・3・4前・後	2	○							兼3	
住まいの地方性	1・2・3・4前	2	○							兼1	
特別支援教育総論	1・2・3・4前	2	○							兼1	
生活設計論	1・2・3・4前	2	○							兼1	
人間理解の心理学	1・2・3・4前・後	2	○							兼3	
教育問題から見た現代社会	1・2・3・4後	2	○							兼1	
保育・子育ての現在	1・2・3・4前	2	○							兼1	
子どもとジェンダー	2・3・4前	2	○							兼1	
資本市場の役割と証券投資	1・2・3・4前	2	○							兼12	オムニバス
発達と障害	1・2・3・4後	2	○							兼1	
現代教育政策論	1・2・3・4後	2	○							兼1	
幼児期における特別支援教育	1・2・3・4前	2	○							兼1	
フューチャーサーチ	1・2・3・4前	2	○							兼4	オムニバス、集中
心理学への誘い	1・2・3・4前・後	2	○							兼2	
Language and Communication across Cultures	1・2・3・4前	2	○							兼1	
ボランティアとサービスマーケティング	1・2・3・4前・後	2	○							兼1	
保育と社会	1・2・3・4前	2	○							兼1	
土木環境のコミュニケーション	1・2・3・4後	2	○							兼6	共同（一部）
みんなの法学	1・2・3・4前	2	○							兼1	
Health System and Well-being in the World	1・2・3・4前	2	○							兼1	
消費者教育	1・2・3・4前	2	○							兼1	
政治とグローバル・イシュー	2・3・4後	2	○							兼1	
大学入学から考えるアメリカ社会	1・2・3・4後	2	○							兼1	
グローバルヘルスの課題解決に挑戦！フィールドワーク計画を立てよう	1・2・3・4前・後	2	○							兼1	集中
観光政策科学概論A	1・2・3・4前	2	○							兼2	オムニバス
家庭の中のエレクトロニクス	1・2・3・4前	2	○							兼3	オムニバス
人間とコンピュータ	1・2・3・4後	2	○							兼4	オムニバス
ワインと宝石	1・2・3・4前	2	○							兼13	オムニバス
これからの機械技術	2・3・4前	2	○							兼4	オムニバス
一般相対性理論への招待	1・2・3・4後	2	○							兼1	
クリスタルサイエンス	1・2・3・4後	2	○							兼10	オムニバス、共同（一部）
生命科学と社会	1・2・3・4前	2	○							兼1	
水圏植物の生物学	1・2・3・4後	2	○							兼1	
数学的見方	1・2・3・4後	2	○							兼1	
ガイア仮説と地球システム科学	1・2・3・4前	2	○							兼1	
物理パズルで親しむ身近な自然現象	1・2・3・4後	2	○							兼1	
自然災害と都市防災	1・2・3・4前	2	○							兼2	オムニバス
光る分子の科学	1・2・3・4前	2	○							兼1	

生命を科学する	1・2・3・4後	2	○								兼5	オムニバス	
自然科学と環境	2・3・4後	2	○								兼12	オムニバス	
地球環境化学とエネルギー	2・3・4後	2	○								兼1		
地球科学の未解決問題	1・2・3・4後	2	○								兼1		
プラスチックの科学	1・2・3・4後	2	○								兼1		
数学的に考えるとは	1・2・3・4前	2	○								兼1		
超小型電動車の仕組みとその強度評価	1・2・3・4後	2	○								兼1		
富士山学	1・2・3・4後	2	○								兼10	オムニバス	
生命科学入門	2・3・4後	2	○								兼4	オムニバス	
情報処理及び実習	1・2・3・4後	2	○								兼1		
食から見える世界いろいろ	2・3・4前	2	○								兼14	オムニバス	
ソフトウェアプロジェクト管理	2・3・4前	2	○								兼1		
メカトロニクス入門	2・3・4後	2	○								兼2	オムニバス	
電気系エンジニアのための日本語リテラシ	2・3・4前	2	○								兼1		
人と社会の情報化	1・2・3・4後	2	○								兼1		
つながりの数学	1・2・3・4後	2	○								兼1		
数と三角関数	1・2・3・4前	2	○								兼1		
数理モデル入門	1・2・3・4後	2	○								兼2	オムニバス	
ワイン製造演習及び体験学習	1・2・3・4前	2	○			○					兼2	オムニバス、共同(一部)、兼1	
安全環境化学	1・2・3・4後	2	○								兼1		
半導体プロセス工学	1・2・3・4後	2	○								兼1		
都市計画	1・2・3・4後	2	○								兼3	オムニバス	
環境生態学	1・2・3・4後	2	○								兼2	オムニバス	
情報理論	1・2・3・4前	2	○								兼1		
パワーエレクトロニクス	1・2・3・4前	2	○								兼1		
電力伝送工学	1・2・3・4前	2	○					9	3	2	兼1	オムニバス、一部共同	
計測センシング工学	1・2・3・4前	2	○								兼1		
加工学I	1・2・3・4後	2	○								兼1		
こころと体の障害の理解と支援	1・2・3・4前	2	○								兼1		
現代生活とバイオテクノロジー	1・2・3・4後	2	○								兼12	オムニバス	
医工学と現代社会	1・2・3・4前	2	○								兼1		
頭と身体の運動学	1・2・3・4後	2	○								兼1		
医療の最先端	1・2・3・4前	2	○					9	3	2	兼1	オムニバス、共同(一部)	
社会における看護と介護	1・2・3・4後	2	○								兼16	オムニバス	
人体の生命科学	1・2・3・4前	2	○					9	3	2	2	兼1	オムニバス、共同(一部)
運動遊び	1・2・3・4後	2	○								兼1		
健康とスポーツの科学	1・2・3・4前	2	○								兼1		
臨床心理学を学ぶ	1・2・3・4後	2	○								兼3	オムニバス	
現代の体育・スポーツを考える	1・2・3・4後	2	○								兼1		
教養としてのジェンダー	1・2・3・4前	2	○								兼1		
こころの健康づくり	1・2・3・4後	2	○								兼2	オムニバス、共同(一部)	
不登校事例を通して学ぶ発達臨床心理学	1・2・3・4前	2	○								兼1		
グローバルヘルス入門	1・2・3・4前	2	○								兼1		
運動学習とスポーツ	1・2・3・4前	2	○								兼1		
病気の子どもを取り巻く社会の現状と課題	1・2・3・4前	2	○								兼1		
生活習慣と健康行動	1・2・3・4前	2	○								兼1		
身近な健康情報を科学する	1・2・3・4後	2	○								兼1		
大学生のためのセルフマネジメント	1・2・3・4前	2	○								兼3	オムニバス	
食物科学入門	1・2・3・4後	2	○								兼1		
社会の中の医療・医学	1後	2	○					4		1	兼11	オムニバス、共同(一部)	
小計(113科目)	—	2	224	0	—			22	6	5	2	0	兼218
合計(152科目)	—	10	298	0	—			22	6	5	2	0	兼251
学位又は称号	学士(医学)	学位又は学科の分野		医学									
卒業要件及び履修方法							授業期間等						
全学共通教育科目から32単位以上 専門教育科目は必修科目の173単位を修得しなければならない							1学年の学期区分			2期			
							1学期の授業期間			15週			
							1時限の授業時間			90分			

教 育 課 程 等 の 概 要															
(医学部医学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	語学教育科目	英語MC	2前	2		○									兼3
		英語MD	2後	2		○									兼3
		小計(2科目)	—	0	4	0	—		0	0	0	0	0	0	兼4
専門教育科目	基礎教育科目	学部入門ゼミ(ECE)		2			○		○	1					
		物理学		2			○			1					
		化学		2			○			1					
		ヒトの体と病気		1			○								兼9
		生物		1			○					1			
		生命科学	1	1			○			1					
		教養総合講義		1			○								兼11
		数学1		1			○			1					
		数学2		1			○			1					
		データサイエンス1		1			○				1				
		人類遺伝学		1			○			1					
		生命科学実習	2	1			○		○	1					
		データサイエンス2		1			○				1				
		倫理学・プロフェッショナルリズム	3	1			○					1			兼3
	小計(14科目)	—	17			—		8	2	2	0	0	0	兼23	
基礎医学系	基礎医学系	生化学A	1	2			○	○		3	1		3		
		実験医学・生命情報		1			○			1					オムニバス
		解剖学A(組織学講義・実習)		2			○		○	2		1	2		
		解剖学B(肉眼解剖学講義・実習)		4			○		○	2		2	1		
		生理学	2	3			○		○	2	1			2	
		生化学B		2			○		○	3	1			3	
		神経科学		3			○		○	6	2	1	7		
		小計(7科目)	—	17			—		19	5	4	18	0		
臨床基礎医学系	臨床基礎医学系	感染免疫学総論	2	1			○			2	2		3		
		薬理学		2			○		○	1	1				
		病理学A		1			○		○	1			1		
		病理学B	3	1			○		○	1	2				
		微生物学		2			○		○	1	1		2		
		免疫・寄生虫学		1			○		○	1	1		1		
		臨床薬理学・薬剤学		1			○								兼1
小計(7科目)	—	9			—		7	7	0	7	0		兼1		
社会医学系	社会医学系	法医学		1			○			1	1				
		社会環境医学	4	3			○			2	1		4		
		行動科学		1			○	○		2	1		4		
		社会医学実習	6	1					○	2	1		4		
	小計(4科目)	—	6			—		7	4	0	12	0			
統合臨床医学	統合臨床医学	地域医療学	1~3	1			○		○						
		循環器/呼吸器		6			○								兼19
		消化器		5			○								兼19
		内分泌/代謝/腎臓/膠原病	3	5			○								兼12
		免疫/アレルギー/血液		6			○								兼26
		腎泌尿器/生殖器/外傷/再建外科/漢方		5			○								兼20
		神経/筋/精神		6			○								兼14

	皮膚／運動器／感覚器	4	5			○												兼11	オムニバス		
	周産期／麻酔／医療安全		5			○												兼14	オムニバス		
	感染制御学		1			○			2	2			3						オムニバス		
	診断学入門	4	1			○	○		1										オムニバス		
	臨床推論		2			○			1				1						オムニバス		
臨床医学系	消化器内科学	4~5	1				○			1	2	5									
	循環器・呼吸器科内科学		1				○		2		1	6									
	糖尿病内分泌・腎臓・リウマチ膠原病内科		1				○		2	1	2	3									
	神経内科学		1				○		1	1											
	血液内科学		1				○		1	1	1	2									
	小児科学		1				○		1			4									
	精神神経医学		1				○		1		3	5									
	皮膚科学		1				○		1		3	5									
	外科学1		1				○		1	1	2	4									
	外科学2		1				○		1	1	2	4									
	整形外科		1				○		1		3	2									
	脳神経外科学		1				○		1		2	4									
	麻酔科学		1				○		1	2	2										
	産科学		1				○		1	3	1	4									
	婦人科学		1				○		1	3	1	4									
	泌尿器科学		1				○		1	1	1	3									
	眼科学		1				○		1	1	1	5									
	耳鼻咽喉科学		1				○		1		2	3									
	放射線医学		1				○		1	1	2	4									
	歯科口腔外科学		1				○		1	1	1										
	臨床検査医学		1				○		1	1	1	1									
	人体病理学		1				○		1	2		1									
	救急医学		1				○		1			1	3								
	地域医療学		1				○		1												
	臨床実習		内科（必修1）	5~6	3				○		6	4	6	16							
			内科（必修2）		3				○		6	4	6	16							
外科（必修）		3					○		4	2	9	14									
産婦人科（必修）		3					○		1	3	1	4									
小児科（必修）		3					○		1		4										
精神科（必修）		3					○		1		3	5									
総合診療（必修）		3					○		1	1											
選択科1		3					○		25	21	38	68									
選択科2		3					○		25	21	38	68									
選択科3		3					○		25	21	38	68									
選択科4		3					○		25	21	38	68									
選択科5		3					○		25	21	38	68									
選択科6		3					○		25	21	38	68									
選択科7		3					○		25	21	38	68									
A C C I I	選択科8		3				○		25	21	38	68									
	選択科9		3				○		25	21	38	68									
	臨床医学研究 (CBL、医学統計、医療バイオインフォマティクス、医学英語)	4~6	2			○			1	1											
	CPC	5~6	1			○			1												
	小計(54科目)	—	123			—			30	23	38	72									
	総合医学研究	6	1			○	○		1	1											
	小計(1科目)	—	1			—			1	1											
	合計(89科目)	—	173	4	0	—			40	27	41	113									
学位又は称号		学士(医学)			学位又は学科の分野			医学													
卒業要件及び履修方法								授業期間等													
全学共通教育科目から32単位以上 専門教育科目は必修科目の173単位を修得しなければならない								1学年の学期区分					2期								
								1学期の授業期間					15週								
								1時限の授業時間					90分								

令和6年度
医学部入学定員増員計画

梨大企第4号
令和5年8月21日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人山梨大学
学長 中村和彦



「地域の医師確保等の観点からの令和6年度医学部入学定員の増加について（令和5年8月8日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	医学部長・小泉修一
	TEL	055-273-8288
	FAX	055-273-7108
	E-mail	skoizumi@yamanashi.ac.jp

大学名	国公立
山梨大学	国立

1. 現在（令和5年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
125	0	0	750

↑
(収容定員計算用)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
(ア) 入学定員	125	125	125	125	125	125	750
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	125	125	125	125	125	125	750

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和6年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
105	0	0	630

↑
(収容定員計算用)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計
(ア) 入学定員	105	105	105	105	105	105	630
(イ) 2年次編入学定員							0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	105	105	105	105	105	105	630
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和6年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
125	0	0	650

↑
(収容定員計算用)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計
(ア) 入学定員	125	105	105	105	105	105	650
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	125	105	105	105	105	105	650
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数	20
--------	----

↑
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	20
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	0
計	20

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 | 20

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県 山梨県	20
大学所在地以外の都道府県	
計	20

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R4地域枠定員 (※1)	R4貸与者数 (※2)	R5地域枠定員 (※1)	R5貸与者数 (※2)	R4とR5の貸与 者数のうち多い 方の数
山梨県	20	35	20	35	35
					0
					0
					0
					0
計	20	35	20	35	35

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和6年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

① 令和4年度に実施した地域枠学生(令和5年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	診療料の限定の有無	(診療料の限定(推奨)がある場合)その診療料名	開始年度	備考
				募集人数	うち臨時定員分						
学校推薦型選抜Ⅱ(地域枠)	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	35	35	20	入学者の選抜は、第1段階選抜及び最終選抜の2段階選抜により行う。 【第1段階選抜】募集人員の約1.5倍を超えた場合に実施し、大学入学共通テストの成績、調査書、多面的・総合的な評価のための申告書及び学長推薦書を総合して判定する。 【最終選抜】第1段階選抜の合格者について、大学入学共通テストの成績、面接、調査書、多面的・総合的な評価のための申告書及び学長推薦書を総合して判定する。	次の各号のすべてに該当する者とする。 (1) 令和5年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受検する方 (2) 2021年度中又は2022年度中に山梨県内の高等学校を卒業した方又は卒業見込みの方 (3) 高等学校における「調査書」の学習成績評価が「A」又は「A」である方 ※「A」とは、学習成績評価がAに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる方。この場合、高等学校長は「調査書」の「備考」欄にその理由を明示しなければならぬ。 (4) 医師免許取得後、15年の期間内で9年間(初期臨床研修及び専門研修期間を含む)、キャリア形成プログラムに基づき、山梨県内の医療機関において診療に従事することを確約できる方 (5) 山梨県医師修学資金貸与制度第二種の利用を確約できる方 (6) 合格した場合は入学することを確約できる方 なお、令和5年度入学選抜における大学入学共通テストの成績は、令和5年度大学入学共通テストの成績のみとする。	無		H21以前	
合計			35	35	20						

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

② 令和5年度に実施する地域枠学生(令和6年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	診療料の限定の有無	(診療料の限定(推奨)がある場合)その診療料名	開始年度	備考
				募集人数	うち臨時定員分						

学校推薦型選 抜Ⅱ(地域 枠)	(i) 学校推薦 型選抜	別枠(先行 型)	35	20	<p>入学者の選抜は、第1段階選抜及び最終選抜の2段階選抜により行う。 【第1段階選抜】募集人員の約1.5倍を超えた場合に実施し、大学入学共通テストの成績、調査書、多面的・総合的な評価のための申告書及び学校長推薦書を総合して判定する。</p> <p>【最終選抜】第1段階選抜の合格者について、大学入学共通テストの成績、面接、調査書、多面的・総合的な評価のための申告書及び学校長推薦書を総合して判定する。</p>	<p>次の各号のすべてに該当する者とする。 (1) 令和6年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受検する方 (2) 2022年度中又は2023年度中に山梨県内の高等学校を卒業した方又は卒業見込みの方 (3) 高等学校における「調査書」の学習成績評価が「A」又は「A」である方 ※「A」とは、学習成績評価がAに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる方。この場合、高等学校長は「調査書」の「備考」欄にその理由を明示しなければならぬ。 (4) 医師免許取得後、15年の期間内で9年間(初期臨床研修及び専門研修期間を含む)、キャリア形成プログラムに基づき、山梨県内の医療機関において診療に従事することを確約できる方 (5) 山梨県医師修学資金貸与制度第二種の利用を確約できる方 (6) 合宿した場合は入学することを確約できる方</p> <p>なお、令和6年度入学選抜における大学入学共通テストの成績は、令和6年度大学入学共通テストの成績のみとする。</p>	無	H21以前	
合計			35	20					

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒業に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和6年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次には、必修科目である「学部入門ゼミ(ECE)」及び「地域医療学（～5年次）」において、地域医療の現状（基礎）を学ぶ。2～3年次には、「地域医療学」において本学附属病院の総合防災訓練への参加や、24時間消防署に待機し救急車へ同行する救急車同乗実習などを通じ、地域の災害医療及び県内医療の現状を学ぶ。4～5年次には、「地域医療学」において、県内中規模病院で診療科に特化しない実践的な臨床実習を通じ、医師として求められる基本的な資質・能力、特に「総合的に患者・生活者をみる姿勢（Generalism）」を学ぶ。
以上の内容を通じて、県内医療の現状を認識するとともに、地域医療に貢献する意識を養う。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成20年度から地域枠による入学定員の増員を開始し、平成21年度から平成26年度までは県外高校出身者も対象としていたが、平成27年度からは県内高校出身者のみに変更し、地域医療教育に取り組んできた。
令和5年度までに555名の地域枠学生を確保し、そのうち316名が卒業し140名が現在県内で医師として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の 別	単 位 数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1年次	学部入門ゼミ(ECE)	全員	必修	必修	講義	2	H21以前
1～3年次	地域医療学	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
4、5年次	地域医療学	全員	必修	必修	実習	1	H30

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」でご記載ください。）

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例：〇週間)	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

※該当がない場合は、何も記入せずに提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和4年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
山梨県医学生等体験研修	地域の診療所等における在宅診療を体験する。	H25

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのまま提出ください。

3年次生に対する説明会	県と連携し、3年次生に対し地域枠入学者の義務要件及び地域医療に関する説明	H30
5年次生に対する説明会	県と連携し、5年次生に対し地域枠入学者の義務要件の意識付け及びキャリア形成の支援に関する説明	H28

※空欄がある場合は、何も記入せずそのまま提出ください。

3. その他

1～2に記入したものの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)
特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

2. 研究医養成のための入学定員増について

増員希望人数 | 0

(1) 令和6年度研究医養成のための入学定員増について 大学が講ずる措置

※令和5年度までの取組を継続して行う場合には、必要に応じて見直しを行ったうえで、当該取組も記載すること。

1. コンソーシアムの形成

①以下をご記入ください。複数のコンソーシアムを形成している場合には、コンソーシアムごとに記入ください。

	連携大学	取組の概要（1～3行程度）	(連携先大学が研究医枠による増員を行っている場合) 連携大学との役割分担（※1）	開始年度
No.1				
No.2				
No.3				

2. 特別コース（※）の設定

（※）「特別コース」とは、学部・大学院教育を一貫して見通した研究医養成のための重点的プログラムを指します。

①特別コースの概要について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。その際、平成22年度～令和5年度に実施した取組で継続して行うもののほか、令和6年度に新たに行おうとする取組についてもご記入ください。

（選抜の時期、授業内容、特別コースに入ることにより大学院進学が促進される仕組み（MD-PhD、単位の先行履修、論文認定、キャリア支援の取組など）

（参考：記入例）

MD-PhDコースや▲年次での大学院進学を促すとともに、○年次に選抜を行い、「○○」という科目等を開講して～～を学んでいる。学部・大学院で一貫した研究を促すため、△△、□□を行っている。またキャリア支援として、～～を実施している。令和5年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②研究医養成のための一貫した特別コースについて、以下をご記入ください。併せて、概要がわかる資料をご提出ください。

選抜の時期（※1）	コースの名称	年次	募集定員（※2）	開始年度	備考
			大学院への進学時期（※3）	開始年度	
選抜入試					
特定の学年次に希望者を募集					
その他（備考欄に詳細を記入）					

（※1）複数段階に分けて選抜を行っている場合には、該当する全てに○をご記入ください。

（※2）最低人数を定めている場合には、「○名以上」という形でご記入ください。

（※3）特別コースの学生の大学院進学時期について全てご記載ください。（例：5年次（MD-PhD）／卒後直後に進学／卒後、臨床研修後に進学／卒後、臨床研修と並行して進学）

③研究医養成のための選抜入試について、以下をご記入ください。

研究医養成のために特別な入試を実施しているか。

（「○」を選択した場合）以下をご記入するとともに、募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	募集人数		選抜方法（※1）	開始年度	備考
			うち臨時定員分			
合計		0	0			

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。

※複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑥特別コースに関する取組のうち、以下の項目に関連するものについてご記入ください。なお、必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。
 (項目：専用の入試枠の設定による選抜の実施、学生が研究活動を実施するために必要となる研究費の予算措置、学生の学会発表、論文発表の機会の設定及び指導体制の構築、臨床研修により研究活動が中断されることのないようにするための配慮、研究医となった際の常勤ホストの確保、海外での研修の機会 (1か月以上))

(項目)	概要 (1～2行程度)	開始年度

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑦上記②～⑥以外に、研究医養成の特別コースに関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。
 (令和5年度以前から継続する取組を含む) (1～2行程度)

取組の名称	取組の概要 (1～2行程度)	開始年度

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑧特別コースの履修者の確保状況について、以下をご記入ください。

人数 (名)	R3	R4	R5	直近3年間の平均 #DIV/0!
--------	----	----	----	---------------------

※当該年度の新規履修者のみを計上してください。

3. 奨学金の設定

①卒業後一定期間の研究医としての従事を要件とする奨学金の設定について、以下をご記入ください。
 複数の奨学金を設定している場合には、それぞれについてご記入ください。

名称	設定主体 (例：大学、〇〇財)	給付/貸与 の別	支給対象	募集人数	選抜の有無	文結期間 (例：大学院1～3年次 (3年間))
No.1						
No.2						
No.3						

(続き)

	支給額 (例：200,000)		返還免除要件	開始年度	備考
	月額	総支給額			
No.1					
No.2					
No.3					

※該当がない場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

(2) 研究医養成拠点として相応しい実績

①-1. 継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(入学年度)	R3	R4	R5	直近3年間の平均
基礎・社会系大学院進学者数 (【A】)				# DIV/0!
臨床系大学院進学者数 (【B】)				# DIV/0!

(博士課程修了年度)	R2	R3	R4	直近3年間の平均
【A】の修了者数 (【C】)				# DIV/0!
【B】のうち、基礎・社会学系の論文 (又は共著論文) を執筆した修了者数 (【D】)				# DIV/0!
合計	0	0	0	0

①-2. その他、継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。(1~3行程度)

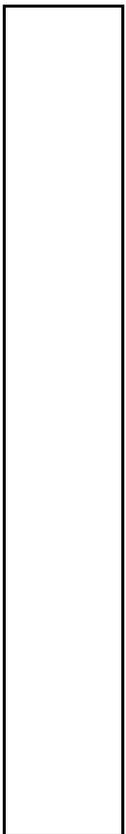
②-1. 継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(博士課程修了年度)	R2	R3	R4	直近3年間の平均
【C】【D】のうち、基礎・社会学分野の就職者数				# DIV/0!
【C】【D】のうち、臨床系に就職したが基礎・社会学研究に従事する者等の数 (※1)				# DIV/0!
合計	0	0	0	0

(※1) 一度臨床系 (基礎系以外) に進んだものの実態としては研究に従事している又は従事する見込みがある者の数。

(例) 臨床医として働きながら研究活動を行っている者、常勤ポストではないが大学の身分を有し研究活動を行っている者、現在臨床医として勤務しているが将来的に研究に従事する意思を大学が確認している者)

②-2. その他、継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。(1~3行程度)



③ 大学教育改革の支援に関する補助事業の採択実績等

※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

採択事業名	採択年度 (○年度 ～○年)	概要 (1～3行程度)

④ 他大学と比較した際に研究医養成拠点として相応しいと考えられる客観的な実績 (科学研究費採択率等)

※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

概要 (1～3行程度)

(3) 過去に研究医枠による入学生定員増を実施した場合の令和5年度における状況

① 過去に入学生定員増を実施した際に計画していた研究医養成に関する取組について、その有効性が高いことを確認している旨を、確認方法等とともにご記入ください。

(例：第三者による評価、学内委員会による評価)

--

令和5年度

特別選抜

(学校推薦型選抜・総合型選抜)

学生募集要項

教育学部・医学部・工学部・生命環境学部



2. 入学者選抜日程

選抜区分	一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程	学校推薦型 選抜Ⅱ	総合型 選抜Ⅱ	学校推薦型 選抜Ⅰ	総合型 選抜Ⅰ	私費外国人 留学生入試	
実施学部等	全学部 医学部医学科以外	全学部	医学部医学科	工学部 生命環境学部	教育学部 医学部看護学科	工学部 コンピュータ理工学科 応用化学科	教育学部 工学部 生命環境学部	
募集要項 公開	10月下旬		8月上旬				12月上旬	
大学入学 共通テスト	1/14(土) ~ 1/15(日)							
出願期間	1/23(月) ~ 2/3(金)		12/14(水) ~12/22(木)	11/1(火) ~ 11/9(水)		9/29(木) ~10/7(金)	12/26(月) ~1/5(木)	
第1段階 選抜				11/19(土)				
第1段階 選抜発表		2/15(水) 医学部医学科のみ	2/7(火)	11/28(月) 工学部 12/2(金) 生命環境学部				
選抜期日	2/25(土)	3/12(日) 医学部看護学科 以外 3/14(火) 医学部看護学科 のみ	2/10(金)		11/19(土)	10/22(土)	1/20(金) 教育学部 1/21(土) 工学部 生命環境学部	
合格者発表	3/6(月)	3/20(月)	2/14(火)		12/9(金)	11/1(火)	2/3(金)	
入学手続	3/7(火) ~3/15(水)	3/21(火) ~3/26(日)	2/15(水) ~ 2/20(月)					
追加合格・ 欠員補充 第2次募集	3/28(火) ~ 3/31(月)							
入学式	4月上旬							

3. 募集人員（入学定員）

学部	課程・学科・コース・系		入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜					総合型選抜		私費	合計	
				前期	後期	I	I(A)	I(B)	I(C)	II	I	II			
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	120	8	3	-	2	-	-	-	-	-	若干	13	
		障害児教育コース		10	4	-	4	-	-	-	-	-	若干	18	
		言語教育コース		国語教育系	7	2	-	2	-	-	-	-	-	若干	13
				英語教育系			-	2	-	-	-	-	-		
		生活社会教育コース		社会科教育系	11	3	-	2	-	-	-	-	-	若干	20
				家政教育系			-	3	1	-	-	-	-		
		科学教育コース		数学教育系	14	4	-	2	-	-	-	-	-	若干	26
				理科教育系			-	2	-	-	-	-	-		
				技術教育系			-	3	1	-	-	-	-		
		芸術身体教育コース		音楽教育系	6	4	-	2	-	-	-	-	-	若干	18
美術教育系	-		2	-			-	-	-	-					
	保健体育系			-	4	-	-	-	-	-					
	山梨県小学校教員養成特別教育プログラム			-	-	-	-	12	-	-	-	-	12		
	計		120	56	20	-	30	2	12	-	-	-	若干	120	
医学部	医学科	105	-	90	-	-	-	-	15以内	-	-	-	105		
	看護学科	60	30	5	25	-	-	-	-	-	-	-	60		
	計	165	30	95	25	-	-	-	15以内	-	-	-	165		
工学部	機械工学科	55	40	8	-	-	-	-	-	-	7	若干	55		
	メカトロニクス工学科	55	39	7	-	-	-	-	-	-	9	若干	55		
	電気電子工学科	55	41	5	-	-	-	-	-	-	9	若干	55		
	コンピュータ理工学科	55	30	5	-	-	-	-	-	8	12	若干	55		
	土木環境工学科	55	39	7	-	-	-	-	-	-	9	若干	55		
	応用化学科	55	26	5	-	-	-	-	-	12	12	若干	55		
	先端材料理工学科	35	27	6	-	-	-	-	-	-	2	若干	35		
計	365	242	43	-	-	-	-	-	20	60	若干	365			
生命環境学部	生命工学科	40	32	5	-	-	-	-	-	-	3	若干	40		
	地域食物科学科	37	30	5	-	-	-	-	-	-	2	若干	37		
		ワイン科学特別コース	(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)		
	環境科学科	30	22	5	-	-	-	-	-	-	3	若干	30		
	地域社会システム学科	48	40	5	-	-	-	-	-	-	3	若干	48		
		観光政策科学特別コース	(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)		
計	155	124	20	-	-	-	-	-	-	11	若干	155			
合計			805	452	178	25	30	2	12	15以内	20	71	若干	805	

- 各選抜方法による合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に入学定員を確保する方向で調整します。
- 教育学部の学校推薦型選抜：I(A) 教科別推薦入試、I(B) 専門・総合学科推薦入試、I(C) 山梨県の小学校教員志望者推薦入試の3つに区分して実施します。
- 生命環境学部の特別コースの人員について、ワイン科学特別コースは地域食物科学科、観光政策科学特別コースは地域社会システム学科の募集人員に含まれ、内訳は目安です。
- 医学部医学科の入学定員について、新医師確保総合対策・緊急医師確保対策・経済財政改革の基本方針2009に基づいた暫定的な医学科定員増の延長申請を予定しています。申請し承認された場合は、学校推薦型選抜IIの募集人員が「35以内」、入学定員が「125」となります。変更が生じた場合はホームページで公表します。

(2) 学校推薦型選抜 II

医学部【II（医学科）】

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す・課さないを問わず）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。

次の各号の全てに該当する方

*1校から推薦し得る人数に制限はありません。

- (1) 令和5年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験する方
- (2) 2021年度中又は2022年度中に山梨県内の高等学校を卒業した又は卒業見込みの方
- (3) 高等学校における「調査書」の学習成績概評が「Ⓐ」又は「A」である方
 - *「Ⓐ」とは、学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる方。この場合、高等学校長は「調査書」の「備考」欄にその理由を明示する必要があります。
- (4) 医師免許取得後、15年の期間内で9年間（初期臨床研修及び専門研修期間を含む）、キャリア形成プログラムに基づき、山梨県内の医療機関において診療に従事することを確約できる方
- (5) 山梨県医師修学資金貸与制度第二種の利用を確約できる方
- (6) 合格した場合は、入学することを確約できる方

*大学入学共通テスト 本学が指定する教科・科目

令和5年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和5年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。各科目の配点については、37頁を参照してください。

選抜区分	医学部 医学科（学校推薦型選抜II）									
共通テストの教科グループ	国	地歴			公民	数①	数②	理①	理②	外
科目名	国	世 B	日 B	地 B	倫 政 経	数 I A	数 II B	物 化 生		英
科目数	1	1			1	1	-	2		1
注意事項	<p>【地歴・公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。</p> <p>【外国語】英語はリスニングも利用します。リーディング(100)+リスニング(100)=計(200)として合算します。</p>									

山梨県医師修学資金貸与制度

山梨県医師修学資金貸与制度は、将来、山梨県内の公立病院等の医師として従事しようとする医学生に対して、山梨県が修学資金を貸与する制度です。詳細は山梨県のホームページで確認してください。

<https://www.pref.yamanashi.jp/imuka/ishikakuho/kakuhojigyo/shugakushikin.html>

① 対象

医学部医学科入学者

② 貸与額

第一種：月額 50,000 円 / 第二種：月額 130,000 円（学校推薦型選抜Ⅱの入学者が優先されます。）

③ 返還免除

次の条件を満たした場合、修学資金及び当該修学資金に付された年 10%の利息（以下「修学資金」という。）の返還は全額免除になります。満たさない場合は、修学資金等全額を一括返還することになります。

(1) 共通

- ・卒業後、2年以内に医師免許を取得すること。
- ・医師免許取得後、山梨県内の病院が実施する2年間の初期臨床研修を修了すること。

(2) 第一種

- ・医師免許取得後、6年の期間内に3年間、山梨県内の公立病院等において医師の業務に従事すること。（義務年限のうち、山梨県内の病院が実施する臨床研修を修了すること。）

(3) 第二種

- ・医師免許取得後、貸与期間の2分の5の期間内に、貸与期間の2分の3の期間（6年間貸与を受けた場合、15年の期間内に9年間）山梨県地域医療支援センター*1で調整後に知事が指定する山梨県内の特定公立病院等*2において診療に従事すること。（義務年限のうち、山梨県内の病院が実施する臨床研修（専門研修を受ける場合は、山梨県内の病院が実施する臨床研修及び専門研修）を修了すること。）

*1 山梨県地域医療支援センターは、本人のキャリア形成支援と一体的に県内の医師確保を支援するため、医学部附属病院と山梨県が共同で設置している機関です。

*2 知事が指定する病院はキャリア形成プログラムに基づきキャリア形成等を考慮して決定しますが、一定期間（4年程度）県内の医師不足地域において医師として従事する必要があります。

④ 留意事項

- ・修学資金等を一括返還しても、山梨県内で医師として診療に従事する期間は短縮されません。
- ・学校推薦型選抜Ⅱの入学者は、医師修学資金貸与制度第二種の貸与を受け、医師修学資金貸与制度の規定及びキャリア形成プログラムに基づき、一定期間必ず山梨県内の医療機関において診療に従事しなければなりません。
- ・学校推薦型選抜Ⅱの入学者は、医師国家試験合格後、山梨県地域枠等医師キャリア形成プログラムに基づく契約を山梨県との間で締結します。県内就業に関する義務違反が確定した場合は、同契約に基づき違約金をお支払いいただきます。
- ・山梨県医師修学資金貸与制度とは別に、大学在籍中は、継続して山梨県地域枠等医師キャリア形成卒業前支援プランに参加していただきます。

⑤ 照会先

山梨県 福祉保健部 医務課 医療企画担当（TEL：055-223-1480）

⑥ 申込先

医学部キャンパス：医学域学務課学生グループ（TEL：055-273-9346）

甲府キャンパス：学生支援課奨学支援グループ（TEL：055-220-8053・8054）

(3) 医学部【学校推薦型選抜 II】

① 選抜方法・合否判定基準

2段階選抜により合格者を決定します。

(1) 第1段階選抜

志願者が募集人員の約1.5倍を超えた場合に実施し、大学入学共通テストの成績、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」を総合して判定します。

(2) 最終選抜

第1段階選抜の合格者について、大学入学共通テストの成績、面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」を総合して判定します。評価の基準及び同点者の取扱いについては、入試の適正な実施に支障が生じかねないという観点から非公表とします。

② 選抜期日・場所（最終選抜）

期日：2023年2月10日（金）

場所：山梨大学医学部キャンパス（山梨県中央市下河東1110）

学 科	集合時刻	集合場所	検 査
医 学 科	別途連絡	医学部キャンパス 看護学科教育研究棟	面 接

*集合時刻は出願受理後に別途連絡します。また、試験終了時刻は受験者数により変わります。

③ 検査内容

学 科	検 査	検査内容
医 学 科	面 接	人間性豊かな医師及び創造性に富んだ医学研究者となるにふさわしい情操・創造性・適応性等を総合的に判定します。また、将来山梨県内で診療に従事する理由・意欲等もみます。

④ 配 点

学 科	選抜 段階	大学入学共通テスト						計
		国	地歴	公民	数	理	外	
医 学 科	1次	200	100		200	200	200	900
	最終	200	100		200	200	200	900

*面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の配点については非公表とします。

令和6年度

特別選抜

(学校推薦型選抜・総合型選抜)

学生募集要項

教育学部・医学部・生命環境学部

工学部については、令和6年度の改組を文部科学省に申請中のため、承認後、別冊にて募集要項を公表いたします。



2. 入学者選抜日程

選抜区分	学校推薦型選抜		総合型選抜
	I	II	II
実施学部等	教育学部・ 医学部 看護学科	医学部 医学科	生命環境学部
大学入学 共通テスト	-	1/13(土) } 1/14(日)	1/13(土) } 1/14(日)
出願期間	11/1(水) } 11/9(木)	12/13(水) } 12/21(木)	11/1(水) } 11/9(木)
第1段階 選抜期日	-	-	11/18(土)
第1段階 選抜発表	-	2/6(火)	12/8(金)
選抜期日	11/18(土)	2/9(金)	-
合格者発表	12/8(金)	2/13(火)	2/13(火)
入学手続		2/14(水) } 2/19(月)	
入学式		4月上旬	

※ 合格者の入学辞退等により入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格又は欠員補充第2次募集を行うことがあります。(期間：3/28(木)～3/31(日))

3. 募集人員（入学定員）

学部	課程・学科・コース・系		入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜						総合型選抜		私費	合計		
				前期	後期	I	I (女子枠)	I (A)	I (B)	I (C)	II	I	II				
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース		120	8	3	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	13	
		障害児教育コース			10	4	-	-	4	-	-	-	-	-	若干	18	
		言語教育コース	国語教育系		7	2	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	13	
			英語教育系				-	-	2	-	-	-	-	-			
		生活社会教育コース	社会科教育系		11	3	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	20	
			家政教育系				-	-	3	1	-	-	-	-			
		科学教育コース	数学教育系		14	4	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	26	
			理科教育系				-	-	2	-	-	-	-	-			
			技術教育系				-	-	3	1	-	-	-	-			
		芸術身体教育コース	音楽教育系		6	4	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	18	
美術教育系	-		-	2			-	-	-	-	-						
保健体育系	-		-	4			-	-	-	-	-						
山梨県小学校教員養成特別教育プログラム				-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	12			
計		120	56	20	-	-	30	2	12	-	-	-	若干	120			
医学部	医学科		105	-	90	-	-	-	-	-	15以内	-	-	-	105		
	看護学科		60	30	5	25	-	-	-	-	-	-	-	-	60		
	計		165	30	95	25	-	-	-	-	15以内	-	-	-	165		
工学部	工学科	クリーンエネルギー化学 コース		365	18	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33	
		応用化学コース			18	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33	
		土木環境工学コース			30	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	46	
		コンピュータ理工学コース			47	-	8	2	-	-	-	-	6	12	若干	75	
		機械工学コース			32	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	48	
		メカトロニクスコース			29	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45	
		電気電子工学コース			29	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45	
		総合工学枠			10	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
		計			365	213	30	48	14	-	-	-	-	30	30	若干	365
生命環境学部	生命工学科		40	32	5	-	-	-	-	-	-	-	3	若干	40		
	地域食物科学科	ワイン科学特別コース	37	30	5	-	-	-	-	-	-	-	2	若干	37		
		ワイン科学特別コース		(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)			
	環境科学科		30	22	5	-	-	-	-	-	-	-	3	若干	30		
	地域社会システム学科	観光政策科学特別コース	48	40	5	-	-	-	-	-	-	-	3	若干	48		
		観光政策科学特別コース		(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)			
	計		155	124	20	-	-	-	-	-	-	-	11	若干	155		
合計		805	423	165	73	14	30	2	12	15以内	30	41	若干	805			

- 各選抜方法による合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に入学定員を確保する方向で調整します。
- 教育学部の学校推薦型選抜 I は、I (A) 教科別推薦入試、I (B) 専門・総合学科推薦入試、I (C) 山梨県の小学校教員志望者推薦入試の3つに区分して実施します。
- 工学部工学科においては、コース毎の合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に工学科全体で入学定員を確保する方向で調整します。

- 生命環境学部の特別コースの人員について、ワイン科学特別コースは地域食物科学科、観光政策科学特別コースは地域社会システム学科の募集人員に含まれ、内訳は目安です。
- 医学部医学科の入学定員について、令和6年度医学部臨時定員増への申請を予定しています。申請し承認された場合は、学校推薦型選抜Ⅱの募集人員が「35以内」、入学定員が「125」となります。変更が生じた場合はホームページで公表します。

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ

医学部【Ⅱ（医学科）】

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す・課さないを問わず）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。

次の各号の全てに該当する方

*1校から推薦し得る人数に制限はありません。

- (1) 令和6年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験する方
- (2) 2022年度中又は2023年度中に山梨県内の高等学校を卒業した又は卒業見込みの方
- (3) 高等学校における「調査書」の学習成績概評が「④」又は「A」である方
 - *「④」とは、学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる方。この場合、高等学校長は「調査書」の「備考」欄にその理由を明示する必要があります。
- (4) 医師免許取得後、15年の期間内で9年間（初期臨床研修及び専門研修期間を含む）、キャリア形成プログラムに基づき、山梨県内の医療機関において診療に従事することを確約できる方
- (5) 山梨県医師修学資金貸与制度第二種の利用を確約できる方
- (6) 合格した場合は、入学することを確約できる方

* 大学入学共通テスト 本学が指定する教科・科目

令和6年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。各科目の配点については、31ページを参照してください。

選抜区分	医学部 医学科（学校推薦型選抜Ⅱ）													
共通テストの教科グループ	国	地歴			公民		数①	数②	理①			理②		外
科目名	国	世 B	日 B	地 B	倫 政 経	数 I A	数 II B	物	化	生	英			
科目数	1	1			1	1	-	2		1				
注意事項	【地歴・公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。 【外国語】英語はリスニングも利用します。リーディング(100)+リスニング(100)=計(200)として合算します。													

山梨県医師修学資金貸与制度

山梨県医師修学資金貸与制度は、将来、山梨県内の公立病院等の医師として従事しようとする医学生に対して、山梨県が修学資金を貸与する制度です。詳細は山梨県のホームページで確認してください。

<https://www.pref.yamanashi.jp/imuka/ishikakuho/kakuhojigyo/shugakushikin.html>

① 対象

医学部医学科入学者

② 貸与額

第一種：月額 50,000 円 / 第二種：月額 130,000 円

(学校推薦型選抜Ⅱの入学者は、全員第二種になります。)

③ 返還免除

次の条件を満たした場合、修学資金及び当該修学資金に付された年 10%の利息(以下「修学資金」という。)の返還は全額免除になります。満たさない場合は、修学資金等全額を一括返還することになります。

(1) 共通

- ・卒業後、2年以内に医師免許を取得すること。
- ・医師免許取得後、山梨県内の病院が実施する2年間の初期臨床研修を修了すること。

(2) 第一種

- ・医師免許取得後、6年の期間内に3年間、山梨県内の公立病院等において医師の業務に従事すること。(義務年限のうち、山梨県内の病院が実施する臨床研修を修了すること。)

(3) 第二種

- ・医師免許取得後、貸与期間の2分の5の期間内に、貸与期間の2分の3の期間(6年間貸与を受けた場合、15年の期間内に9年間)山梨県地域医療支援センター*1で調整後に知事が指定する山梨県内の特定公立病院等*2において診療に従事すること。(義務年限のうち、山梨県内の病院が実施する臨床研修(専門研修を受ける場合は、山梨県内の病院が実施する臨床研修及び専門研修)を修了すること。)

*1 山梨県地域医療支援センターは、本人のキャリア形成支援と一体的に県内の医師確保を支援するため、医学部附属病院と山梨県が共同で設置している機関です。

*2 知事が指定する病院はキャリア形成プログラムに基づきキャリア形成等を考慮して決定しますが、一定期間(4年程度)県内の医師不足地域において医師として従事する必要があります。

④ 留意事項

- ・修学資金等を一括返還しても、山梨県内で医師として診療に従事する期間は短縮されません。
- ・学校推薦型選抜Ⅱの入学者は、医師修学資金貸与制度第二種の貸与を受け、医師修学資金貸与制度の規定及びキャリア形成プログラムに基づき、一定期間必ず山梨県内の医療機関において診療に従事しなければなりません。
- ・学校推薦型選抜Ⅱの入学者は、医師国家試験合格後、山梨県地域枠等医師キャリア形成プログラムに基づく契約を山梨県との間で締結します。県内就業に関する義務違反が確定した場合は、同契約に基づき違約金をお支払いいただきます。
- ・山梨県医師修学資金貸与制度とは別に、大学在籍中は、継続して山梨県地域枠等医師キャリア形成卒業前支援プランに参加していただきます。

⑤ 照会先

山梨県 福祉保健部 医務課 医療企画担当 (TEL: 055-223-1480)

⑥ 申込先

医学部キャンパス：医学域学務課学生グループ (TEL: 055-273-9346)

甲府キャンパス：学生支援課奨学支援グループ (TEL: 055-220-8053・8054)

(3) 医学部【学校推薦型選抜 II】

① 選抜方法・合否判定基準

2段階選抜により合格者を決定します。

(1) 第1段階選抜

志願者が募集人員の約1.5倍を超えた場合に実施し、大学入学共通テストの成績、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」を総合して判定します。

(2) 最終選抜

第1段階選抜の合格者について、大学入学共通テストの成績、面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」を総合して判定します。評価の基準及び同点者の取扱いについては、入試の適正な実施に支障が生じかねないという観点から非公表とします。

② 選抜期日・場所（最終選抜）

期日：2024年2月9日（金）

場所：山梨大学医学部キャンパス（山梨県中央市下河東1110）

学 科	集合時刻	集合場所	検 査
医 学 科	別途連絡	医学部キャンパス 看護学科教育研究棟	面 接

*集合時刻は出願受理後に別途連絡します。また、試験終了時刻は受験者数により変わります。

③ 検査内容

学 科	検 査	検査内容
医 学 科	面 接	人間性豊かな医師及び創造性に富んだ医学研究者となるにふさわしい情操・創造性・適応性等を総合的に判定します。また、将来山梨県内で診療に従事する理由・意欲等もみます。

④ 配 点

学 科	選抜 段階	大学入学共通テスト						
		国	地歴	公民	数	理	外	計
医 学 科	1次	200	100		200	200	200	900
	最終	200	100		200	200	200	900

*面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の配点については非公表とします。

授業科目名			
学部入門ゼミ(ECE)			
担当教員			
針井 則一			
時間割番号	単位数	履修年次	期別
DMA101	2	1	前期
[学習目標]			
<p>早期臨床体験(ECE: Early Clinical Exposure)は入学したばかりの学生の動機づけを目的とした実習である。この実習は医学的知識や技能の修得を目的としたものではなく、看護を通して患者の身体的・精神的・社会的苦悩を知ること、将来医師となるべき学生諸君がこれから何をすべきかを自覚することである。また医療の現場は多様であり大学病院の医療だけではなく、自らの進路を決めるためにも大学病院以外の様々な医療現場を知る必要がある。実習の事前学習として、地域のさまざまな医療現場で活躍されている医師を招いての講義、また実習への参加に最低限必要な臨床倫理(医の倫理)や接遇マナーについての研修も実施する。</p>			

<本授業科目による獲得・涵養が期待されるコンピテンシー(能力・資質)>

医学部>医学科向け

記号	コンピテンシー(能力・資質)	説明	
A	コミュニケーション		○
B	社会における医療の実践		◎
C	生涯にわたってともに学ぶ姿勢		○

<到達目標>

目標No	説明	医学
1	医療を実感し勉学への動機を高める。	C
2	地域医療に貢献している医師の活動を理解する。	C
3	積極的に体験したことを話し合い報告できる。	A
4	ECEの目的を理解する。	C
5	患者に対する人格の尊重、思いやり、共感の態度を身につけ、医療スタッフや患者とのコミュニケーションをとることができる。	B

<成績評価の方法>

目標No	割合	説明
1	20%	実習レポート
2	20%	講義レポート
3	10%	報告会出席、態度、グループワーク
4	40%	講義出席・態度
5	10%	実習先評価

[授業計画]

山梨県の地域医療を担う病院にて2日間、5名程のグループで看護師の補助を行う(日程A・Bあり)。病院により実習内容に多少の違いはあるが医療スタッフ、患者さんとのコミュニケーションが上手くとれることを期待している。病院はすべて公共交通手段および徒歩等で到達できる。

【講義予定】木曜日4限

1. 4月13日: 「地域病院における医師の役割-1」	北杜市立甲陽病院	田中医師
2. 4月20日: 「地域病院における医師の役割-2」	加納岩総合病院	浅利院長
3. 4月27日: 「地域病院における医師の役割-3」	げんきキッズクリニック	宮本院長
4. 5月1日: 「地域病院における医師の役割-4」	飯富病院	朝比奈院長
5. 5月18日: 「病院における看護師の役割」	看護部長	村松看護部長
6. 5月25日: 「地域病院における医師の役割-5」	国立甲府病院	内田医師
7. 6月1日: 「地域病院における医師の役割-6」	市立甲府病院 整形外科	堀内医師
8. 6月8日: 「地域病院における医師の役割-7」	南部町医療センター	市川所長
9. 6月15日: 「地域病院における医師の役割-8」	あすか在宅クリニック	高添院長
10. 6月22日: 「地域病院における医師の役割-9」	山梨県立中央病院	塚本医師
11. 6月29日: 「地域病院における医師の役割-10」	きたむらクリニック	北村院長
12. 7月6日: 「災害医療とは」	救急集中治療医学	森口教授
13. 7月13日: 「地域病院における医師の役割-11」	山梨市立牧丘病院	小澤医師
14. 7月20日: 「医学部卒業後のキャリアパス」	臨床研修センター	板倉教授
15. 7月27日: 「総合診療とは」	地域医療・総合診療学	針井教授

(※上記内容で予定しているが、都合により変更になることがある)

【実習期間】

接遇研修	: 9月 11日(月)	3・4限
グループA	: 9月 12日(火)~13日(水)	
グループB	: 9月 14日(木)~15日(金)	

【報告会】

9月25日(月) 3・4限
(※詳細については後日掲示する)

実習の全容については令和5年度早期臨床体験(ECE)の手引きを参照のこと(7月初旬~中旬頃配布予定)。
「接遇研修」を欠席した者は実習を受けることができないので注意すること(実習不参加は単位修得不可)。
レポートの提出、報告会への出席も必須事項である。特段の理由なくレポート未提出、報告会を欠席の場合は単位の修得が困難になる。
また実習先での評価は単位取得に直接反映される。「不可」等の悪い評価がついた場合には再実習あるいは単位取得が困難となる。

外部講師による講義については別途レポートの提出を求める。どの講義についてのレポートを提出することになるかは後日公表されるので出席は必須である。(録音を聞いて書かれたレポートは受理しない)

【授業形態】

「面接授業」を行う。尚、感染状況により「ライブ型」「オンデマンド型」も併用して行う。

※この科目は地域医療学講座が担当するが、基本的に医学部教育委員会が主催している科目であり、最終的な判定は医学部教育委員会が行う。

[実務経験のある教員による授業科目の概要]

医師として実務経験のある教員が講義を行っている。

[教科書]

[参考書]

授 業 科 目 名			
地域医療学			
担 当 教 員			
針 井 則 一			
時間割番号	単位数	履修年次	期別
DME301	1	1, 2, 3	通期

[学習目標]

地域医療の現状を理解し、地域医療の魅力と意義を感じるにより、地域医療に従事する意欲を持ち、地域医療に必要な知識と技能、態度を身につける。病院前救護と医療連携を理解し積極的に協力する姿勢を身につける。

1) 地域医療に関する知識を習得する。
地域医療の現状と関連法規を概説できる。
地域における病院と診療所の役割を理解する。

2) 地域医療に必要な技能を理解する。
ECEで地域医療の現場を体験する
病院における災害訓練を経験する

3) 地域医療に必要な態度を身につける。
ECEでチーム医療を体験する
救急隊のチームワークを体験する

※ 本授業科目は、「COCコース別専門科目」

<本授業科目による獲得・涵養が期待されるコンピテンシー（能力・資質）>

医学部>医学科向け

記号	コンピテンシー(能力・資質)	説明	
A	チーム医療の実践		◎
B	医学知識と問題対応能力		○
C	社会における医療の実践		○
D	生涯にわたってともに学ぶ姿勢		○

<到達目標>

目標No	説明	医学
1	地域医療の理念と現状および課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を習得する。	B
2	医学に関する一連の講義を聞くことで医師に必要な教養を深める。	D
3	限られた医療資源で何が出来るか等、災害医療の根本を理解する。	C
4	病院前救護と医療連携の重要性を医療者の立場だけではなく患者やその家族の立場として理解する。	A

<成績評価の方法>

目標No	割合	説明
1	5%	ECE講義 評価
2	5%	教養総合講義 評価
3	30%	トリアージ訓練 評価
4	60%	救急用自動車同乗実習

[授業計画]

1、2、3年次までの講義および実習で総合的に学習する。各実習、講義の詳細については別途概要を掲示する。実習が主となるが、実習後はレポートの提出をオンラインで行う予定である。

【1年次】

教養総合講義、ECEを中心として、地域医療の現状を理解する。

【2年次】

総合防災訓練への参加（ガイダンス・反省会を含む）を必須事項とし、災害医療の面から地域医療を理解する。特段の理由なく不参加の場合は、単位修得が困難となる。

【3年次】

患者が病院に搬送される前の医療を体験する場として、24時間消防署に待機し、救急事案へ同行する救急車同乗実習を行う。また実習後、報告会を開催する。オリエンテーション、事前講義を欠席した者は実習を受けることができないので注意すること。また、エイズ知識普及啓発講習会（12月頃）への出席も必須としている。

1、2、3年次まで実習が中心となっており、実習についてはオリエンテーション・ガイダンス・事前講義など事前学習への出席をもって参加が認められるので出席は必須事項である。特段の理由なく事前学習を欠席、実習を受けない者、レポート未提出者、反省会・発表会・報告会などへの欠席者は単位修得が困難になる。

また、全学年を通して連絡などは随時掲示するので必ず確認すること。

【授業形態】

「面接授業」を行う。尚、感染状況により「ライブ型」「オンデマンド型」も併用して行う。
※オリエンテーション、報告会等は臨床大講堂にて面接授業を行う。
※実習先での対策は各実習先の指示に従い行うものとする。

[実務経験のある教員による授業科目の概要]

医師として実務経験のある教員が、実践的教育を行っている。

[教科書]

石原 晋, 益子 邦洋, プレホスピタルMOOK1・現場活動プロトコール Part1, 永井書店 (ISBN: 4815917515)
石原 晋, 益子 邦洋, プレホスピタルMOOK1・現場活動プロトコール Part2, 永井書店 (ISBN: 4815917647)

[参考書]

授 業 科 目 名			
地域医療学 BCC実習			
担 当 教 員			
針井 則一			
時間割番号	単位数	履修年次	期別
DMG547	1	4,5	通期

[学習目標]

地域病院の特色ある外来、病棟回診・診察、手術部・リハビリ室などの実習を通して、地域医療を担う医師の業務やチーム医療の重要性やその地域における医療・介護・保健・福祉の現状と問題点を理解する。また医療の基本としてのプライマリ・ケアの実践として、大学病院では経験しにくいcommon diseaseの診療、特にコア・カリキュラムの主要症候の初療を学ぶ。

<本授業科目による獲得・涵養が期待されるコンピテンシー（能力・資質）>

医学部>医学科向け

記号	コンピテンシー(能力・資質)	説明	
A	チーム医療の実践		◎
B	医学知識と問題対応能力		○
C	診療技術と患者ケア		○

<到達目標>

目標No	説明	医学
1	診療チームに参加する	A
2	必要な医学知識を備えている	B
3	身だしなみや態度が医療人として適切である	C
4	時間・規律を守ることができる	C
5	患者・家族へ親切かつ丁寧に対応する	C
6	疑問点、分からない点を積極的に質問する	B
7	感染予防に配慮できる	A
8	実習病院の特色と地域における役割を説明できる	B
9	地域医療を担う医師の役割を説明できる	B
10	地域包括ケアシステムについて概説できる	B

<成績評価の方法>

目標No	割合	説明
1	10%	実習先評価表を用いる
2	10%	実習先評価表を用いる
3	10%	実習先評価表を用いる
4	10%	実習先評価表を用いる
5	10%	実習先評価表を用いる
6	10%	実習先評価表を用いる
7	10%	実習先評価表を用いる
8	10%	実習先評価表を用いる
9	10%	実習先評価表を用いる
10	10%	実習先評価表を用いる

[授業計画]

<授業計画>

BCC (basic clinical clerkship: 臨床実習) 4年次1月～5年次7月までの期間で山梨県内の中規模病院に基本1名で5日間の実習を実施するものとする。診療科に特化した実習ではなく、地域病院で行われているプライマリ・ケアに触れることを目的とした実習である。

【授業形態】

実習先での対策は各実習先の指示に従い行うものとする。

[実務経験のある教員による授業科目の概要]

医師として実務経験のある教員が、実践的教育を行っている。

[教科書]

[参考書]

医 第 2 3 0 3 号
令和 5 年 8 月 1 0 日

厚生労働省医政局長 殿

山梨県福祉保健部長 井上 弘之
(公 印 省 略)

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和 5 年 8 月 8 日付け 5 文科高第 6 6 9 号、医政発 0807 第 12 号に基づき、下記のとおり、令和 6 年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

2 4 名

- ・山梨大学医学部における地域枠： 2 0 名
- ・昭和大学医学部における地域枠： 2 名
- ・北里大学医学部における地域枠： 2 名

担当 : 福祉保健部医務課医療企画担当 小野
電話番号 : 0 5 5 - 2 2 3 - 1 4 8 0
メールアドレス : imuka@pref.yamanashi.lg.jp